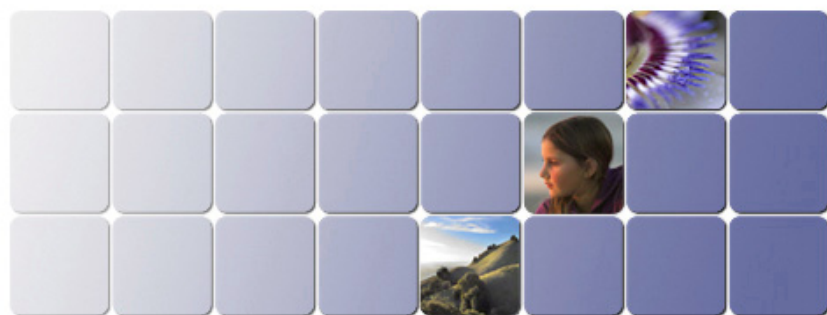
SIGMA Photo Pro 使用説明書

SIGMA デジタルカメラ 専用画像処理ソフトウェア

Version 4.2
For Macintosh

重 要 : ご 使 用 前 に 必 ず お 読 み く だ さ い

このたびは、シグマ製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
この使用説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止する為に必ずお守りいただくことを記載しています。
本文をお読みいただき、内容を理解してから正しくご使用ください。

ご注意

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- この使用説明書に記載されている内容は、予告なしに変更することがあります。
- この使用説明書の内容につきましては、万全を期しておりますが、万一お気付きの点がございましたら、当社カスタマーサービスまでご連絡ください。また、使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本ソフトウェアを操作した結果については、シグマ及びそのライセンサーはいかなる責任も負いませんので、ご了承ください。

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用の前にこの項目の内容を十分ご理解いただくようお願いします。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

同梱の CD-ROM を CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しないで下さい。
オーディオ用 CD プレーヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。
また、ヘッドフォンをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

あなたが本カメラで記録した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。尚、実演や興行、展示会などのなかには、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意下さい。

- FOVEON X3 及び X3 ロゴは Foveon 社の登録商標です。
- Macintosh 及び FireWire は、米国およびその他の国で登録された、米国 Apple Computer, Inc の商標です。
- Adobe 及び Adobe Photoshop は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- その他の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

TABLE OF CONTENTS

重要：ご使用前に必ずお読みください i

TABLE OF CONTENTS i

1 イントロダクション 1

1.1 SIGMA Photo Pro について 2
SIGMA Photo Pro クイック・ガイド 2
メインウィンドウについて 3
レビューウィンドウについて 4

1.2 使用説明書について 5
この使用説明書に使用している記号とその使用方法について 5
この使用説明書のコンピューター画面上での使い方 5

2 コンピューターの設定 6

2.1 ソフトウェアのインストール 7
Macintosh での動作条件..7
ソフトウェアのインストールとアンインストール..7

2.2 モニタの確認 8
モニタの明るさ、ガンマ、色調の確認..8
モニタプロファイルの利用..8
モニタ解像度の選択 8

3 ご使用前に 9

3.1 カメラのコンピューターへの接続方法 10
ケーブルを接続する..10
カメラの電源を入れる 10
カメラを接続する （SD/ DP シリーズ）..10
カメラを接続する （SD9/SD10） 10
バッテリーから AC 電源への切替 （SD9/SD10）..11
アプリケーションの動作中にカメラを接続する （SD9/SD10） 11

TABLE OF CONTENTS

3.2 SIGMA Photo Pro の起動方法 11

SIGMA Photo Pro の起動方法 と終了方法..11

自動起動の設定とその解除方法 11

4 画像の取り込み 12

4.1 カメラからコンピューターに画像を取り込む方法 13

SIGMA Photo Pro を使用して画像を取り込む..13

SD9/SD10 をコンピューターに接続した場合 14

カードリーダーを使って、画像を取り込む 14

5 画像の編集 15

5.1 メインウィンドウについて 16

主要機能..16

各部の説明 16

メインウィンドウのサイズ変更..17

ナビゲーション枠とサムネイル枠のサイズ変更..17

5.2 メインウィンドウ内の画像を表示する 17

カメラ内に保存された画像を見る（SD9/SD10）..17

コンピューターに保存された画像を見る 17

5.3 サムネイル表示の選択 18

サムネイル表示のサイズとスタイルの変更..18

サムネイルの並べ替えとフィルタリング..18

5.4 ファイル名の変更 19

SIGMA Photo Pro 上でファイル名を変える 19

SIGMA Photo Pro 上でファイル名の一括変更をする..19

SIGMA Photo Pro 以外でファイル名を変える..19

5.5 画像の選択 19

画像を選択する 19

複数の画像を選択する..19

5.6 メインウィンドウ及びレビューウィンドウでの画像のマーク、ロック、回転 20

画像の回転 20

画像のマーク及びマークの解除 20

TABLE OF CONTENTS

画像のロック及びロックの解除 20

5.7 メインウィンドウ及びレビューウィンドウでの画像の消去 21

画像の消去 21

5.8 メインウィンドウ及びレビューウィンドウでの印刷 21

画像の印刷 21

5.9 メインウィンドウでのスライドショー 21

画像をスライドショーで表示する...21

6 画像のレビュー 22

6.1 レビューウィンドウ 23

レビューウィンドウの開き方 23

主な機能 23

各部の説明 23

6.2 レビューウィンドウからフォルダ内の画像を見る 24

レビューウィンドウに表示される画像を選択する.........................24

ナビゲーションボタンを使って画像を選択する............................24

特定の画像を選択する..24

6.3 ルーペを使う 24

ルーペの表示・非表示 24

ルーペの拡大率を変える 24

ルーペを使う..25

ルーペでRGB値を読む方法...25

6.4 画像の拡大率を変更する 25

画像を画面のサイズに合わせて表示する...................................25

画像の拡大率を変える..25

6.5 露出警告表示を使って画像を見る 26

ハイライト部とシャドウ部を表示する 26

6.6 調整設定を使用する 26

表示されている画像が X3F ファイルの場合 26

X3F: X3F に設定された画像を見る 26

オート: 自動的に調整された画像を見る 27

カスタム: 手動で調整した画像を見る..27

保存されていない設定 27

T A B L E O F C O N T E N T S

表示されている画像が JPEG あるいは TIFF ファイルの場合 28
File: 無調整の画像を見る..28
オート: 自動的に調整された画像を見る 28
カスタム: 手動で調整した画像を見る...28

6.7 複数のレビューウィンドウ 29
複数のレビューウィンドウを開く...29
複数のレビューウィンドウを使って画像を比較する.................................29
複数のレビューウィンドウを使って設定を比較する.................................29

7 画像調整及び保存 30

7.1 メインウィンドウで画像の調整と保存をする 31
複数の画像をまとめて画像の調整と保存をする.......................................31
複数の画像を処理する方法 31

7.2 レビューウィンドウで画像の調整と保存をする 32
一画像ごとに調整と保存をする...32
保存場所を選択する...32

7.3 画像の調整と保存のオプション 33
画素数 33
調整設定...33
カラースペース...33
ファイル形式...33
クオリティ 33

8 画像の調整をする 34

8.1 調整パレットを使って、マニュアルで画像の調整を行う 35
調整パレットを開く..35
調整パレットの最大化、最小化と閉じる 方法 36

8.2 階調を補正する 36
露出 36
コントラスト 36
シャドウ..36
ハイライト 36
彩度 36

TABLE OF CONTENTS

シャープネス....................37
X3 Fill Light (X3F ファイルのみ)....................37

8.3 色を補正する 37

カラーホイールの使い方....................37
カラーホイールを使用して色を調整する....................38
グレーバランスを使って色調整を行う....................38

8.4 ヒストグラムと露出警告マスクを使う 39

ヒストグラムを読む....................39
露出警告表示を有効にする、無効にする....................39

8.5 ホワイトバランスの変更 (X3F ファイルのみ) 40

X3F ファイルのホワイトバランスを変更する....................40

8.6 カラーモードの変更(DP2、SD15 の RAW データのみ) 40

X3F ファイルのカラーモードを変更する....................40

8.7 色ノイズと輝度ノイズを抑制する (ISO400 以上の感度で撮影された X3F ファイルのみ) 41

8.8 カスタム設定の設定方法と保存方法 (X3F ファイルのみ) 41

調整パレットから設定する方法....................41
設定の保存....................41
設定の消去....................41
保存された調整設定値の入れ替え....................42

9 撮影情報の表示 43

9.1 撮影情報 44

メインウィンドウ及びレビューウィンドウの画像枠上部に表示される情報....44
メインウィンドウのサムネイル枠下部に表示される情報....................44
コンピューター枠内に表示される情報....................44

9.2 撮影情報ウィンドウへのアクセス 45

撮影情報ボタン....................45
撮影情報ウィンドウ....................45

10 プリントとスライドショー 46

10.1 メインウィンドウ及びレビューウィンドウでのプリント 47

プリントの設定画面....................47

TABLE OF CONTENTS

プリントサイズ..48
自動回転（Auto　Rotato）..48
同画像印刷枚数（Image　Copies）...48
情報印刷...48
ヘッダ・フッタ印刷...48

10.2 メインウィンドウでのスライドショー 49

スライドショーの表示方法..49

1 イントロダクション

この章では、以下の項目について説明します

- SIGMA Photo Pro の主な機能
- この使用説明書の使い方

1.1 SIGMA Photo Pro について

SIGMA Photo Pro クイック・ガイド

SIGMA Photo Pro で使用されるウィンドウ及びパレットは下記のとおりです。これらのウィンドウやパレットをクリックすると、詳細な画面に移動します。

メインウィンドウ

- カメラからコンピューターに画像を取り込む
- 複数の画像を一度に TIFF または JPEG に変換
- カメラあるいはコンピューター内の画像のマーク、ロック、回転、消去
- 印刷
- スライドショー
- ファイル名の一括変更

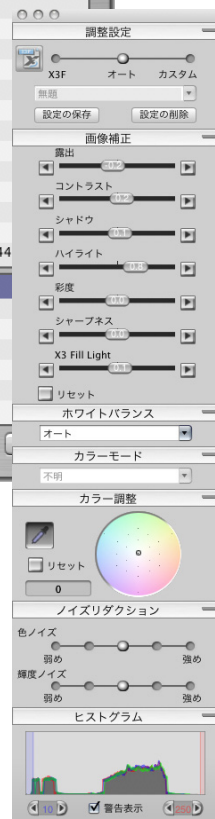
レビューウィンドウ

- メインウィンドウで指定した画像の表示
- 調整設定の選択
- 画像の保存
- ルーペ表示
- 画像の拡大及び、表示倍率の変更
- ハイライト部及びシャドウ部の警告表示
- 画像のマーク、ロック、回転、消去
- 調整パレットの表示
- 印刷
- 設定の読込・保存

撮影情報ウィンドウ

- 撮影情報の表示
- ファイル情報の表示
- 処理情報の表示

調整パレット

- カスタム設定の読込、保存、消去
- 露出、コントラスト、シャドウ、ハイライト、彩度、シャープネス、X3 Fill Light の調整
- ホワイトバランスの設定
- カラー調整
- ヒストグラムの確認
- ハイライト部及びシャドウ部の警告表示の設定
- カラーモードの設定
- 色ノイズ、輝度ノイズの抑制

メインウィンドウについて

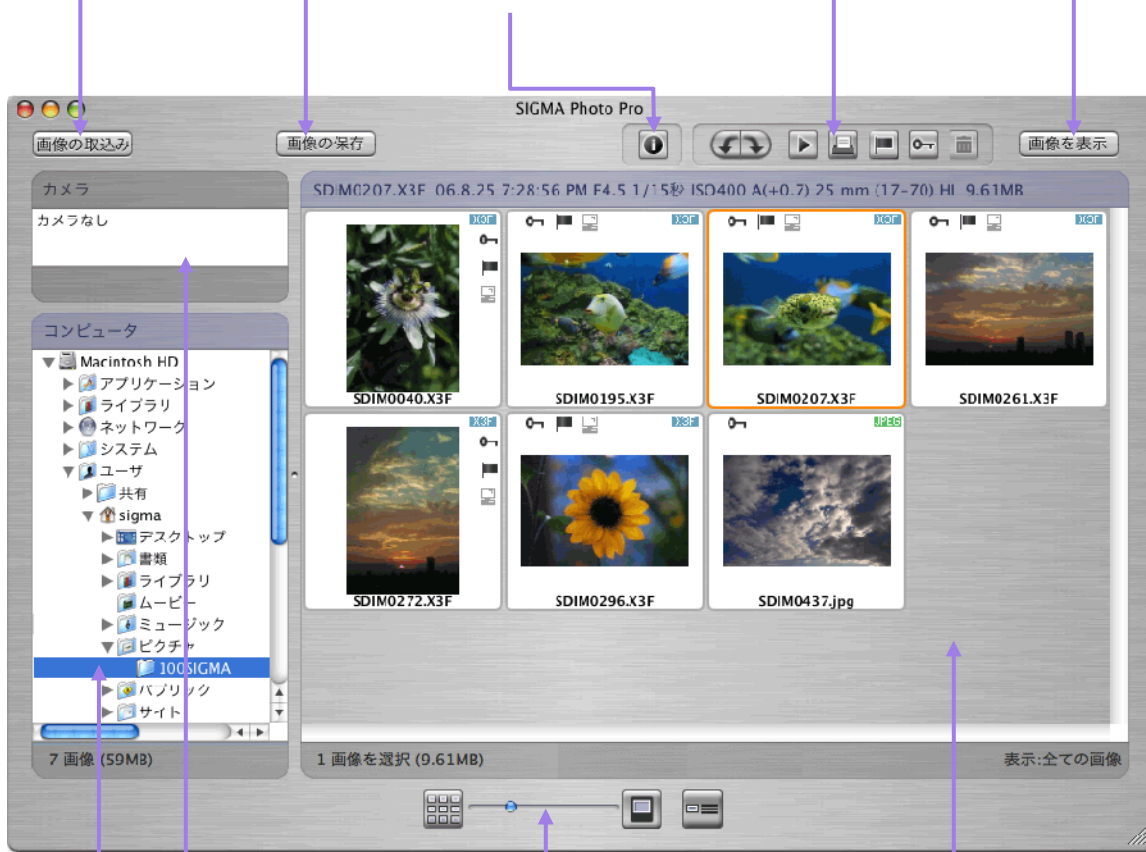
メインウィンドウ内の主な機能は下記の通りです。各部をクリックすると、本使用説明書の詳細項目に移動します。

画像の取り込み ボタン p. 14 をクリックすると、X3Fデータをカメラ（SD9/SD10）からコンピューターに転送します

画像を表示 ボタン p. 23をクリックすると、レビューウィンドウが開き、選択した画像を一画面表示することができます

画像の保存 ボタン p. 31をクリックすると、X3F データを TIFF か JPEG フォーマットに変換して保存します

エディットボタン p. 20をクリックすると、選択した画像の 回転やスライドショー、印刷、マーク、ロック、消去ができます

撮影情報ボタン p. 45をクリックして、撮影情報ウィンドウを開くことができます

サムネイルボタン p. 18をクリックすると、サムネイルのサイズや表示スタイルを変更することができます

カメラ枠 p. 10 には、カメラ（SD9/SD10）の接続状況が示されています。カメラの枠をクリックすると、サムネイル枠にカメラ内に保存されている画像が表示されます

コンピューター枠 p. 17はコンピューターのボリュームやフォルダを表示します、カメラ(SD14/DP1)を接続した場合はこちらに表示されます、ボリュームやフォルダの三角形をクリックすることで階層表示されます、展開したボリュームやフォルダを閉じる場合も三角形をクリックします

サムネイル枠 p. 16には、選択されたカメラ内の画像かコンピューター内の選択されたフォルダにある画像が表示されます

レビューウィンドウについて

レビューウィンドウ内の主な機能は下記の通りです。各部をクリックすると、本使用説明書の詳細項目に移動します。

ナビゲーションボタン *p. 24*をクリックすると、前または次の画像に移動します

ルーペ *p. 24*画像の細部の確認ができます

画像の保存 ボタン *p. 32*をクリックすると、X3F データを TIFF か JPEG フォーマットに変換して保存します

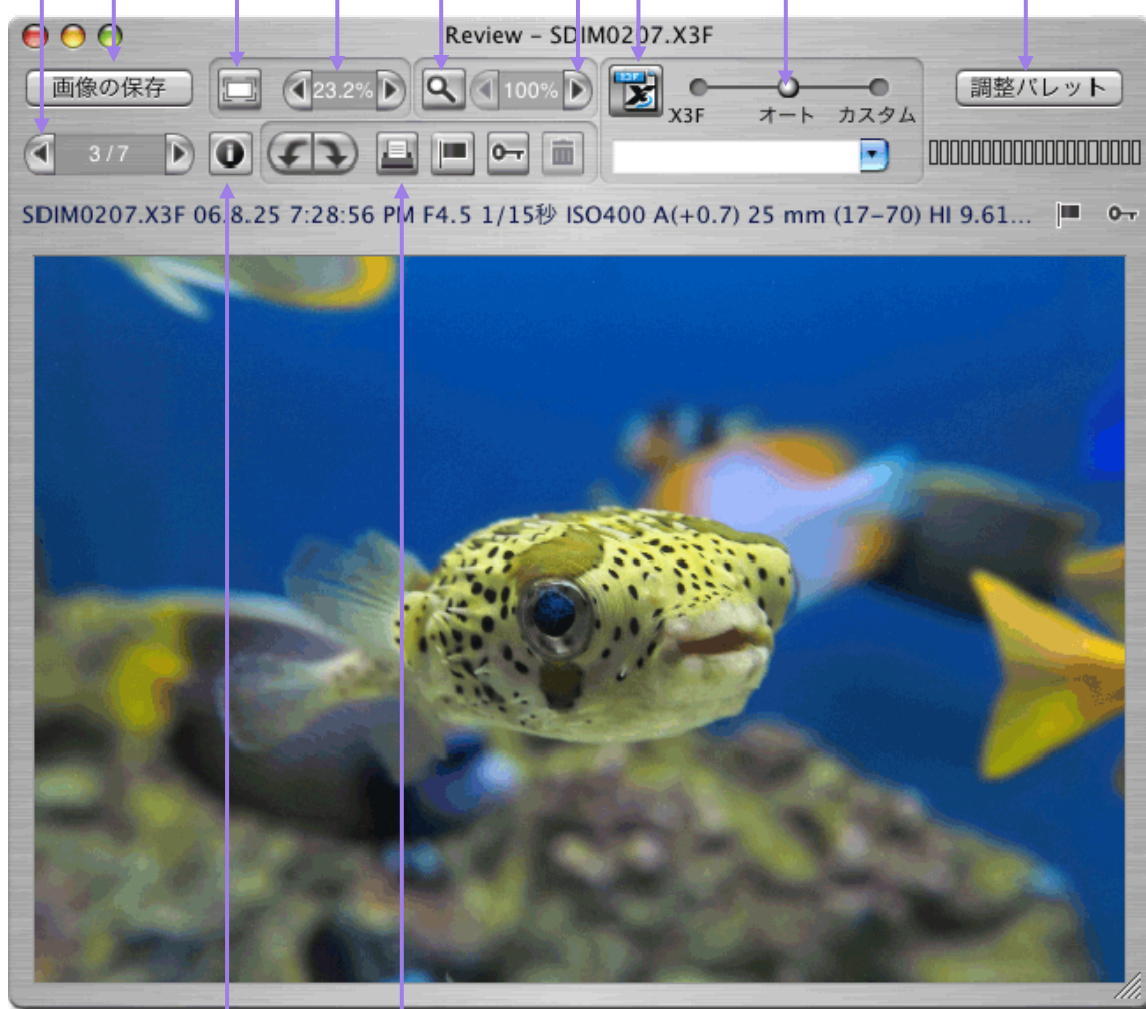
拡大縮小変更ボタン *p. 24*をクリックすると、ルーペの拡大率を変更できます。

画面サイズボタン *p. 25*をクリックすると、画像の表示倍率を画面サイズに合わせます。

X3Fボタン *p. 42*をクリックすると、調整設定で変更したデータを保存できます

表示サイズ変更ボタン *p. 25*をクリックすると、画像の表示倍率を変更できます。

調整設定 *p. 26*を選択すると、様々な設定で画像を見ることができます

調整パレット *p. 35*をクリックすると、調整パレットが開きます

エディットボタン *p. 20*をクリックすると、表示されている画像の回転、印刷、マーク、ロック、消去ができます

撮影情報ボタン *p. 45*をクリックすると、撮影情報ウィンドウを開くことができます

1.2 使用説明書について

この使用説明書は、シグマデジタルカメラの画像処理ソフト SIGMA Photo Pro のインストール方法及び使用方法について説明しています。

この使用説明書に使用している記号とその使用方法について

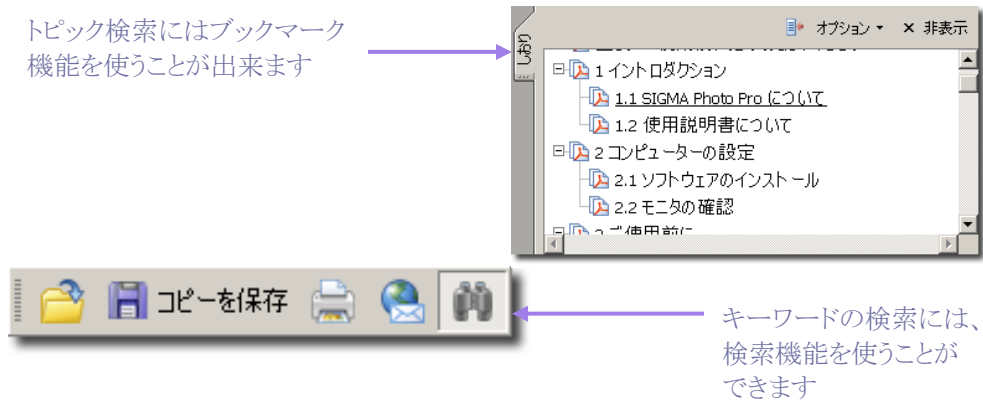
メニューパスは以下のように表示されます
メニューヘッダー > メニューの選択

キーボードは以下のように表示されます
Cmd + アルファベット あるいは 記号

"Cmd" は Macintosh キーボードの Command キーの略語です。

この使用説明書のコンピューター画面上での使い方

SIGMA Photo Pro 使用中にこの使用説明書をコンピューター画面上でご覧になる場合は、ヘルプメニューの中から SIGMA Photo Pro Help を選択してください。

画面上 の PDF 使用説明書では、以下の機能を使うことができます:

2 コンピューターの設定

この章では、以下の事項について説明します

- コンピューターへのインストール
- モニタの確認

2.1 ソフトウェアのインストール

Macintosh での動作条件

SIGMA Photo Pro は 以下の条件を満たす Macintosh コンピューターで動作します。

- PowerPC® G4、G5 または Intel Core プロセッサを搭載したパーソナルコンピューター
- Mac OS X Ver.10.4 以降の OS
- 512MB 以上の RAM（1GB 以上を推奨）
- 1G 以上の空き容量のあるハードディスク
- 16 ビット（約 65,000 色）以上のカラー表示が可能なグラフィックカード
  （24 ビットカラー（約 1,677 万色）以上を推奨）
- 1024x768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- 標準装備された USB あるいは FireWire™ （SD9/SD10 用)インターフェース
- インストール時に CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブが必要

ソフトウェアのインストールとアンインストール

インストール方法

ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で行います。

1. SIGMA Photo Pro CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. CD-ROM 内の SIGMA Photo Pro フォルダ を「アプリケーション」フォルダにドラック＆ドロップします。

※アプリケーション フォルダを開くには、Finder メニューの *移動* > *アプリケーション* を選択します。

3. コピーが完了するとインストール完了です。

アンインストール方法

ソフトウェアをアンインストールするには、インストールされたアプリケーションのフォルダを手動で削除を行います。以下のファイルまたは、フォルダを削除します。

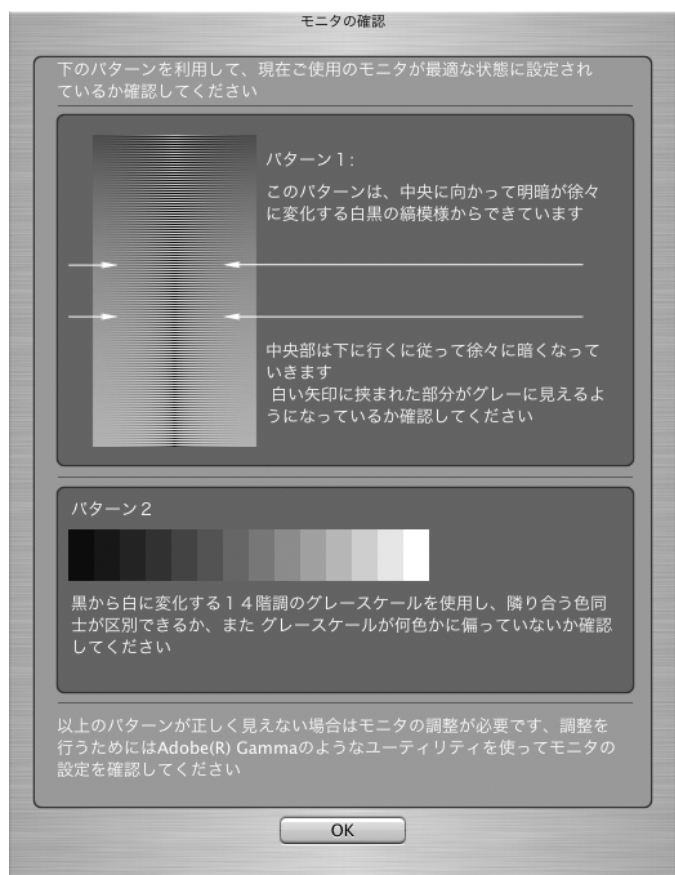
1. 「アプリケーション」フォルダ にある SIGMA Photo Pro フォルダ をゴミ箱へドラッグ＆ドロップします。
2. アプリケーションの他に設定ファイルの削除を行ってください。削除するファイルは、以下になります。
   「ユーザの Preferences フォルダ (*ユーザ / <ユーザ名> / ライブラリ / Preferences*) 内の com.sigmaphoto.photopro.plist」

2.2 モニタの確認

モニタの明るさ、ガンマ、色調の確認

SIGMA Photo Pro では、メインウィンドウのツールメニューからモニタの確認（*ツール > モニタの確認*）を選択すると、モニタ出力を確認するためのパターンが表示されます。

以下のダイアログボックスは、モニタの色の偏りと、ガンマを確認するためのものです。モニタの調整は、ご使用のモニタの使用説明書に従ってください。

モニタ上で画像に調整を行うためには、モニタ上で正確な色再現がされている必要があります。
時間が経過すると、モニタの特性が変わることがありますので、時折モニタの状態をチェックして下さい。
モニタの使用説明書をご覧いただき、メーカーの推奨する方法でキャリブレーションを行ってください。

モニタプロファイルの利用

SIGMA Photo Pro はモニタプロファイルに対応しています。モニタプロファイルに関する情報につきましては、モニタの使用説明書、プロファイリング ソフトウェア、オペレーティングシステム等でご確認ください。

モニタ解像度の選択

SIGMA Photo Pro は解像度 800x600 のモニタ用に設定されていますが、画像の閲覧部分やサムネイル画像は最適化されておりません。画像の閲覧や画像処理を行う際には、1024x768 以上の解像度を持つモニタを使用されることをお奨めいたします。SIGMA Photo Pro は、プログラムが起動すると、サムネイル枠を最適な大きさに設定します。

3 ご 使 用 前 に

この章では、以下の項目について説明します

- カメラのコンピューターへの接続方法
- SIGMA Photo Pro の起動方法

3.1 カメラのコンピューターへの接続方法

SIGMA Photo Pro をご使用になるときは、SIGMA SD9/SD10 は一台のみ、SD/DP シリーズ は複数台をコンピューターに接続することができます。
本ソフトウェアの動作を保証する為に、その他のデジタルカメラは取り外してください。

ケーブルを接続する

カメラとコンピューターを接続する際は、USB または、IEEE 1394（FireWire™）（SD9/SD10 のみ）のどちらかのケーブルを使用し、必ずカメラのスイッチが OFF になっていることをご確認ください。また、USB と IEEE 1394 (FireWire™)のケーブルを同時にカメラとコンピューターに接続しないようにご注意ください。

カメラの電源を入れる

カメラ使用説明書に記載されている手順でカメラの電源を入れてください。カメラをコンピューターに接続する前にカメラの電源を入れると、SIGMA Photo Pro はカメラを認識することができません。

カメラを接続する （SD/ DP シリーズ）

SD/DP シリーズをコンピューターに接続し、カメラの電源を入れると SD/DP シリーズは、リムーバブルディスク（ボリューム）として認識されます（リムーバブルディスク（ボリューム）のアイコンとしてディスクトップにマウントされます）。SIGMA Photo Pro のコンピューター枠にボリュームとして表示されますので、そのボリューム中のフォルダをクリックするとカメラ内のメディアに保存されている画像は、サムネイル枠に表示されます。サムネイル枠に画像が何も表示されない場合は、カメラ内のメディアには画像が保存されていません。

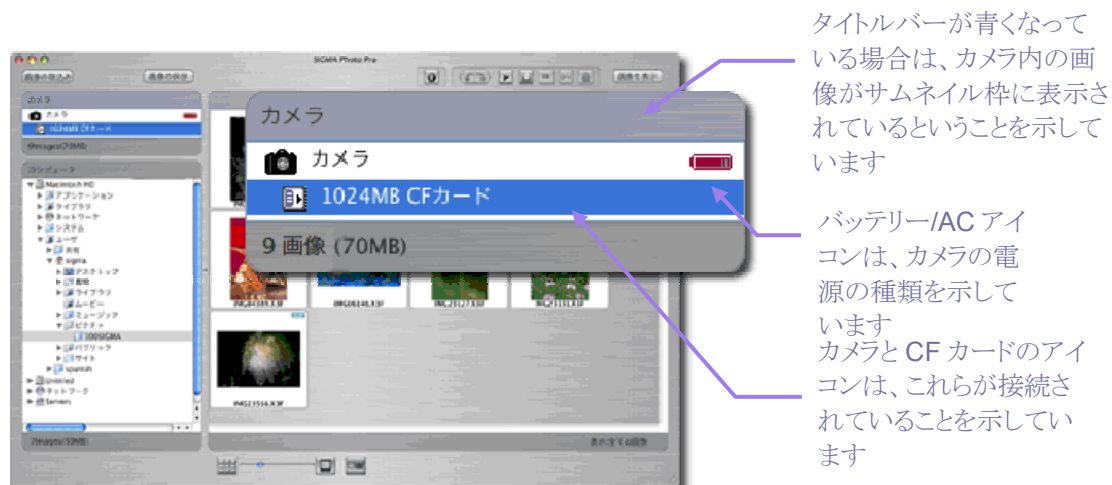
注意：SD/DP シリーズは、リムーバブルディスク（ボリューム）として認識されます。そのため SD9/SD10 のようにカメラ枠に CF カードやバッテリーの状態が表示されませんのでご注意ください。

カメラを接続する （SD9/SD10）

コンピューターに接続しカメラの電源を入れると、SIGMA Photo Pro は自動的に起動します。メインウィンドウには、カメラ枠が青色にハイライト表示されます。カメラ内の CF カードに保存されている画像は自動的にサムネイル枠に表示されます。サムネイル枠に画像が何も表示されない場合は、カメラ内の CF カードには画像が保存されていません。

タイトルバーが青くなっている場合は、カメラ内の画像がサムネイル枠に表示されているということを示しています

バッテリー/AC アイコンは、カメラの電源の種類を示しています

カメラと CF カードのアイコンは、これらが接続されていることを示しています

バッテリーから **AC** 電源への切替 （**SD9/SD10**）

カメラをコンピューターに接続した際には、AC 電源をお使いになることをお奨めいたします。AC 電源を使用することで、バッテリーの消耗を防ぎ、画像転送中にバッテリーの容量が不足し、画像が消失するのを防ぎます。
AC 電源に切り替えると、アイコンも AC 電源のアイコンに切り替わります。

注意：バッテリーを使用している間は、バッテリーアイコンが赤く点滅します。これは、バッテリーを消費している事への警告であり、バッテリー残量の低下を表すものではありません。

アプリケーションの動作中にカメラを接続する （**SD9/SD10**）

SIGMA Photo Pro の動作中にカメラをコンピューターに接続すると、カメラ内の画像が自動的にサムネイル枠に表示されます。

3.2 SIGMA Photo Pro の起動方法

SIGMA Photo Pro の起動方法 と終了方法

カメラをコンピューターに接続し、電源スイッチを入れると、SIGMA Photo Pro が自動的に起動し（SD9 / SD10 を接続した時のみ）、カメラ枠がハイライト表示になったメインウィンドウ が表示されます。サムネイル枠に何も表示されない場合は、カメラ内に画像はありません。

SIGMA Photo Pro は、カメラを接続しなくても、SIGMA PhotoPro アイコンをダブルクリックすることで起動させることができます。ダブルクリックするとメインウィンドウが現れ、コンピューター枠には最後に作業を行ったフォルダが選択された状態になります。
フォルダ内に保存されている画像は、X3F、JPEG、TIFF いずれのフォーマットでも表示させる事ができます。初めて SIGMA Photo Pro をお使いになった場合は、いずれのフォルダも選択されません。

アプリケーションを終了する場合は、メインウィンドウの左上隅の赤いボタンをクリックするか、メインウィンドウのメニューから *SIGMA Photo Pro >SIGMA Photo Pro を終了* を選択してください。

注意：このソフトウェアを使用するには、使用許諾契約に同意して頂く必要があります。使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、同意される場合は、「同意する」ボタンをクリックして下さい。 「同意しない」ボタンをクリックすると、アプリケーションは起動しません。

自動起動の設定とその解除方法

SIGMA Photo Pro は、カメラが接続されると自動的に起動するように初期設定されています（SD9 /SD10 を接続した場合のみ）。
これを解除する為には、メインウィンドウのメニューから *カメラ＞自動起動の設定* を選んでチェックを外してください。

4 画 像 の 取 り 込 み

この章では、以下の項目について説明します

- カメラからコンピューターへ画像を取り込む

4.1 カメラからコンピューターに画像を取り込む方法

カメラからコンピューター内のフォルダに画像を転送することで、X3F ファイルや JPEG 画像（SD/DP シリーズのみ）を保存することができます。

注意：CD-ROM などの書込み禁止になっているメディアでは 上記の作業を行うことはできません。

SIGMA Photo Pro を使用して画像を取り込む

SD/DP シリーズをコンピューターに接続した場合

付属の USB ケーブルを使用し、コンピューターに SD/DP シリーズを接続すると、リムーバブルディスク（ボリューム）のアイコンがディスクトップにマウントされます。

SIGMA Photo Pro でカメラからコンピューターに画像を転送するには以下の方法で行います。

1. 既存のフォルダに画像を転送する。

1. 転送先となるボリュームを、メインウィンドウ左側の「コンピューター枠」に表示されているボリュームの三角形をクリックします。
2. ボリュームの下にフォルダが表示されます。画像を転送先のフォルダを選んで下さい。

新規にフォルダを作成する場合は、フォルダを作成するボリュームまたはフォルダを選択し、メインウィンドウのメニューから *ファイル > フォルダ作成*を選んでください。

2. ボリュームとして認識されているカメラの DCIM フォルダ内の、SIGMA フォルダを開き転送する画像ファイルを選択する。

1. メイン画面左側のコンピューター枠に表示されているボリューム (SIGMA SD14/SIGMA DP1 等) の三角形をクリックします。
2. ボリュームの下に表示された DCIM フォルダの三角形をクリックします。
3. DCIM フォルダ下に表示された SIGMA フォルダをクリックします。
4. サムネイル枠に表示されている画像からコンピューターに転送したいものを選択する。全ての画像を選択する場合は、キーボードショートカット *Cmd + A* を押すか、メインウィンドウメニューの *編集 > 全て選択* をクリックします。

3. 転送先となるフォルダにドラッグ＆ドロップするか、コピー＆ペーストで画像ファイルを複写する。

1. 選択された画像ファイルの上にマウスカーソルを合わせ、マウスボタンを押したまま、転送先のフォルダにマウスカーソルを移動して、マウスボタンから指を離します。
2. あるいは、選択された画像ファイル上で *Cmd + C* を押すか *Ctrl + クリック* でメニューを表示して「コピー」をクリックします。次に転送先のフォルダ上にマウスカーソルを移動して、クリック して、*Cmd + V* を押すか *Ctrl + クリック* で表示されたメニューの「ペースト」をクリックしてください。

以上の操作により、カメラ内のメディアから必要な画像ファイルをコンピューターにコピーすることができます。

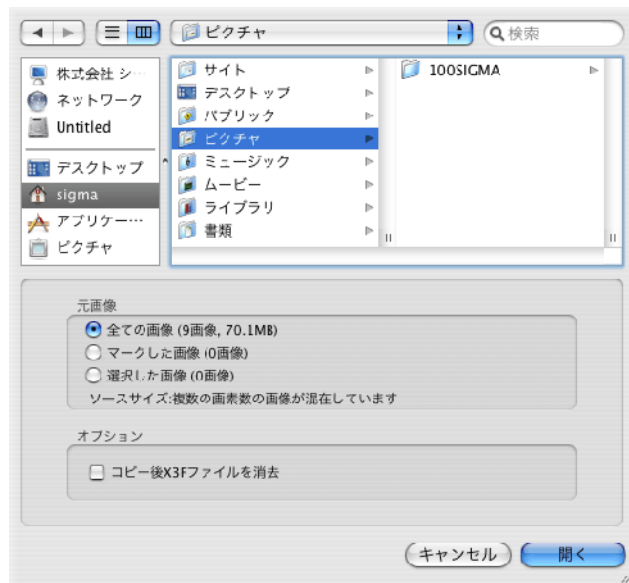
SD9/SD10 をコンピューターに接続した場合

画像の取り込みボタンを使う

カメラ（SD9/SD10）からコンピューター内のボリュームやフォルダに画像を転送することで、X3F ファイルの画像を保存することができます。カメラから転送された画像には、そのことを示すタグが付きますので、後で画像をご覧になる際に便利です。また、カメラ内の CF カードの空き容量を確保する為に、画像を転送した後に消去することもできます。

X3F ファイルをカメラからコンピューターに転送するためには、

1. カメラをコンピューターに接続し、電源を入れます
2. メインウィンドウのナビゲーション枠内のカメラを選択します
3. 特定の画像だけを転送したい場合は、その画像を選択するか、マークします（カメラ内でマークした画像は、SIGMA Photo Pro においてもマークされたままになります）
4. 画像の取り込みボタン をクリックします

以下のダイアログボックスが現れます

元画像：
ラジオボタンをクリックして、全ての画像、マークした画像、選択した画像のいずれかを選んでください

オプション：
チェックマークボックスにチェックを入れると、コンピューターへ画像を転送した後に CF カードからその画像を消去します

保存先：
選択をクリックすると、X3F ファイルをコンピューター内のボリュームやフォルダに転送するか選択することができます

*開く*をクリックすると画像の取り込みを開始し、*キャンセル*をクリックすると取り込みを中止しメインウィンドウに戻ります

カードリーダーを使って、画像を取り込む

お持ちのコンピューターにカードリーダーがあれば、SIGMA Photo Pro のコンピューター枠にボリュームとしてアイコンが表示されます。カードリーダーを使用して、コンピューターに画像を取り込むことができます。

5 画 像 の 編 集

この章では、以下の項目について説明します

- 画像の表示、再生、並べ替え
- 画像の選択
- 画像のファイル名変更
- 画像のマーク、ロック、回転
- 画像の消去

5.1 メインウィンドウについて

主要機能

メインウィンドウでは、以下のことができます。

カメラからコンピューターへ画像を転送
サムネイル画像を見る
複数の画像を一括して調整、保存
画像を新規フォルダへコピー又は移動
画像の回転、マーク、ロック
ファイル名の変更、画像の消去
撮影情報ウィンドウの表示
レビューウィンドウで画像を見る
印刷
スライドショー

コンピューター枠が青くハイライト表示されている場合は、コンピューター内の選択したフォルダ内の画像が表示されます。

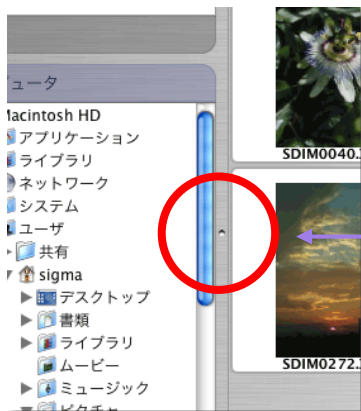
SIGMA Photo Pro は、メインウィンドウを閉じるとプログラムが終了し　その他のウィンドウやパレットも閉じてしまいます。画像の編集中等の際には　メインウインドウを閉じないようにして下さい。

各部の説明

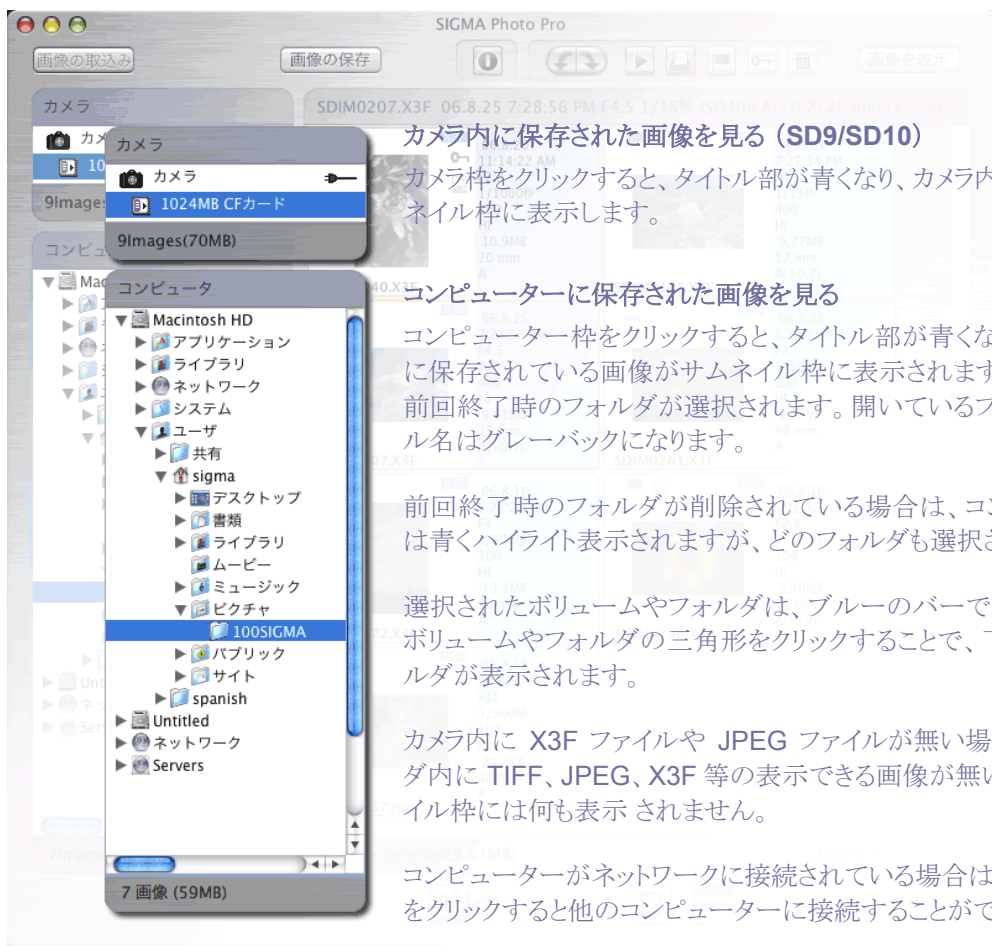
下記のリンク部分をクリックすると、メインウィンドウ内各部の詳細な説明に移動します。

メインウィンドウのサイズ変更

メインウィンドウ左上隅の緑の拡大／縮小（＋）ボタンを使うと、メインウィンドウのサイズを変更することができます。拡大／縮小ボタンをもう一度クリックすると、元のサイズに戻ります。また、ウィンドウがじゃまな場合は、左上隅の橙色のウィンドウをしまう（－）ボタンをクリックすることで、ウィンドウを収納することができます。右下の隅をドラッグすることによって、ウインドウを好みの大きさに設定することができます。

ナビゲーション枠とサムネイル枠のサイズ変更

ナビゲーション枠とサムネイル枠の間にあるグレーの境界をクリックして、ドラッグすると、2 つの枠のサイズが変わります。SIGMA Photo Pro はこのサイズを記憶しています。再び起動したときには、2 つの枠は最後に変更した時のサイズになっています。

グレーの境界線をドラッグして左右に動かすと、コンピューター枠とナビゲーション枠のサイズが変わります

5.2 メインウィンドウ内の画像を表示する

カメラ内に保存された画像を見る（SD9/SD10）

カメラ枠をクリックすると、タイトル部が青くなり、カメラ内の画像をサムネイル枠に表示します。

コンピューターに保存された画像を見る

コンピューター枠をクリックすると、タイトル部が青くなり、フォルダ内に保存されている画像がサムネイル枠に表示されます。フォルダは、前回終了時のフォルダが選択されます。開いているフォルダのファイル名はグレーバックになります。

前回終了時のフォルダが削除されている場合は、コンピューター枠は青くハイライト表示されますが、どのフォルダも選択されません。

選択されたボリュームやフォルダは、ブルーのバーで表示されます。ボリュームやフォルダの三角形をクリックすることで、下の階層のフォルダが表示されます。

カメラ内に X3F ファイルや JPEG ファイルが無い場合、又はフォルダ内に TIFF、JPEG、X3F 等の表示できる画像が無い場合はサムネイル枠には何も表示 されません。

コンピューターがネットワークに接続されている場合は、”ネットワーク” をクリックすると他のコンピューターに接続することができます。

5.3 サムネイル表示の選択

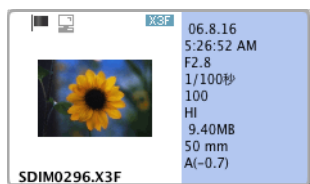
サムネイル表示のサイズとスタイルの変更

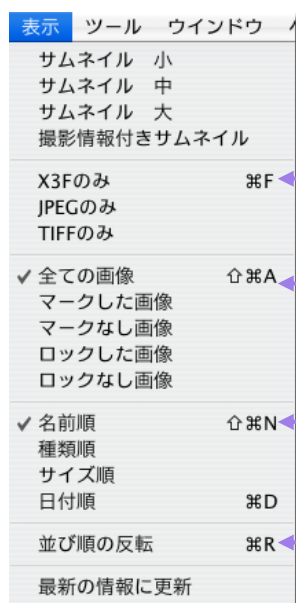
メインウィンドウの下にあるサムネイルボタンをクリックすると、画像の大きさやテキスト表示の有無を選択することができます。

サムネイルズームスライダ

青いボールをドラッグするか、左右にあるボタンをクリックするとサムネイルの表示サイズが変更されます。また、メインウィンドウのメニューから 表示 >サムネイル（小・中・大）を選択して、大きさを変える事もできます。

撮影情報付きサムネイル

このボタンをクリックするか、メインウィンドウのメニューから 表示 > 撮影情報付サムネイル を選択します

サムネイルの並べ替えとフィルタリング

サムネイルのソートやフィルタリングのオプションは、メインウィンドウの *表示* の中にあります。ここから希望する表示方法を選択するか、ショートカットキーを使って、サムネイル枠の表示方法を決めて下さい。

現在のフォルダ内にある　X3F ファイル　又は JPEG ファイル、TIFF ファイルのみ表示します

マーク（またはロック）した/なし画像のみを表示します

属性に従って、サムネイル枠内の画像を整列します

サムネイル枠内の順序の反転や、表示内容を更新します

5.4 ファイル名の変更

SIGMA Photo Pro 上でファイル名を変える

サムネイル枠の中からファイル名を変更したい画像のサムネイル上で *Ctrl + クリック* でコンテキストメニューを表示して「ファイル名の変更」を実行してください。

SIGMA Photo Pro 上でファイル名の一括変更をする

ファイル名の一括変更でファイル名の先頭の文字を指定し、任意の番号にファイル名を変更することができます。ファイル名を変更したい画像を選択した後、*メニュー->ファイル->ファイル名の一括変更*を実行してください。ファイル名の先頭に使用する文字を入力して、開始番号を指定してください。変更後のファイル名が現在選択されているフォルダに既に存在する場合にはエラーになります。

SIGMA Photo Pro 以外でファイル名を変える

カードリーダーを利用し メディアをコンピューターに接続することにより コンピューター上で ファイル名を変更することができますが、メディアに保存されている X3F ファイルのファイル名(IMG##### / SDIM####)を変更すると、カメラ上ではそのファイルを認識できなくなります。ファイル名を変更する場合は、画像ファイルをコンピューターに取り込んでから行ってください。

注意:ファイル名を変更する際に、拡張子を変更しないでください。拡張子を変更すると SIGMA Photo Pro では ファイルを正しく認識することができなくなります。

5.5 画像の選択

画像を選択する

画像を選択する為には、サムネイル画像を 1 回クリックしてください。サムネイル画像をダブルクリックすると、レビューウィンドウで表示されます。

選択された画像は枠がオレンジ色でハイライト表示されます。

複数の画像を選択する

マウスを使って画像の選択/解除は、以下に示すいずれかの方法で行うことができます。

- *Shift* を押しながらサムネイル画像をクリックすると、連続して画像を選択できます
- *Cmd* を押しながらサムネイル画像をクリックすると、任意の画像を選択できます
- *Cmd + A* を押すと表示されている全てのサムネイルを選択できます
- 空いているスペースをクリックするか、メインウィンドの *編集 > 選択の解除* で全てのサムネイルを選択解除できます
- *Cmd + Shift + I* で選択されている画像を反転できます

メインウィンドウの編集メニューを選ぶか ショートカットキーを使用し、サムネイルの選択選択方法の変更 / 解除を行なう事ができます。

5.6 メインウィンドウ及びレビューウィンドウでの画像のマーク、ロック、回転

画像の回転

回転ボタンを使うことによって、サムネイル画像を縦位置にも横位置にも回転することができます。カメラで回転された画像は、コンピューターに転送された後もその状態に保たれます。

画像を左方向に回転させる場合は、画像を選択してから左側の回転ボタンをクリックするか、*編集* > *画像回転90°（反時計回り）*を選択します
画像を右方向に回転させる場合は、画像を選択してから右側の回転ボタンをクリックするか、*編集* > *画像回転90°（時計回り）*を選択します
X3F、JPEG、TIFF のいずれのファイル形式でも回転することができます

画像のマーク及びマークの解除

複数の画像を転送、コピー、画像調整、移動したい場合には、それらの画像をマークすると便利です。カメラ上でマークされた画像はコンピューターに転送された後も、その状態に保たれます。

マークする画像を選んで *マーク* ボタンをクリックするか、*編集* > *マーク* を選択すると、その画像はマークされます
マークされている画像を選んで *マーク* ボタンをクリックするか、*編集* > *マーク解除* を選択すると、その画像のマークが解除されます
選択した画像に既にマークされている画像とマークされていない画像の両方が含まれている場合は、それらの画像は全てマークされます
全ての画像が既にマークされた状態になっている場合は、*マーク* ボタンをクリックするとマークが解除されます
X3F 画像のみがマークできます

画像のロック及びロックの解除

画像をロックすると、誤って画像を消去することを防ぐことができます。カメラでロックされた画像は、コンピューターに転送された後も、その状態に保たれます。

ロックする画像を選んで*ロック* ボタンをクリックするか、*編集* > *ロック* を選択すると、その画像はロックされます
ロックされている画像を選んで*ロック*ボタンをクリックするか、*編集* > *ロック解除* を選択すると、その画像はロックが解除されます
選択した画像に既にロックされている画像とロックされていない画像の両方が含まれている場合は、それらの画像は全てロックされます
全ての画像が既にロックされた状態になっている場合は、*ロック* ボタンをクリックすると画像のロックが解除されます
JPEG, TIFF, X3F のいずれのファイル形式でもロックすることができます

注意：CD-ROM などの書込み禁止になっているメディアでは　上記の作業を行うことはできません。

5.7 メインウィンドウ及びレビューウィンドウでの画像の消去

画像の消去

画像を消去する場合は、画像を選択してからデリート ボタンをクリックする、キーボードからデリートキーを押す、メニューの*編集 > 消去*を選択する のいずれかの方法によって行います
消去作業中は、消去ダイアログボックスが現れて、消去の確認を行います
ロックされた画像は、ロックを解除しないと消去することができません
JPEG, TIFF, X3F のいずれのファイル形式でも消去することが可能です
消去された画像は、コンピューターのごみ箱から元に戻すことができます

注意：CD-ROM などの書込み禁止になっているメディアでは　上記の作業を行うことはできません。

5.8 メインウィンドウ及びレビューウィンドウでの印刷

画像の印刷

印刷ボタンをクリックするか、メニューから *ファイル->プリント* を選択することで、画像を印刷できます。
印刷については、10.1 章をご覧ください。

5.9 メインウィンドウでのスライドショー

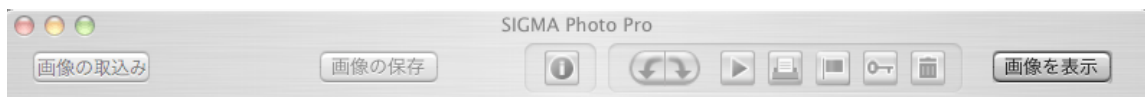
画像をスライドショーで表示する

スライドショーボタンをクリックするか、メニューから *ファイル->スライドショー* を選択することで、スライドショー設定画面が表示されます。スライドショーの使い方は10.2 章をご覧ください。

6 画像のレビュー

この章では、以下の項目について説明します

- レビューウィンドウの開き方
- レビューウィンドウで別の画像を閲覧する
- ルーペ機能の使い方
- 警告表示を使用したシャドウ部とハイライト部のチェック
- 調整設定の使い方
- 複数のレビューウィンドウの表示
- X3F ファイルの調整設定の更新

6.1 レビューウィンドウ

レビューウィンドウの開き方

メインウィンドウで画像を選択してから、サムネイル画像をダブルクリックするか、*画像を表示* ボタンをクリックすると、レビューウィンドウが表示されます。

主な機能

レビューウィンドウでは以下のことができます。

画像の拡大表示
画像調整、画像の保存
異なる調整をした複数の画像の比較
調整パレットの表示
画像のマーク、ロック、回転、消去
カメラ内あるいは選択されたフォルダ内にある画像の表示
撮影情報ウィンドウの表示

各部の説明

下記のリンクをクリックすると、レビューウィンドウの各部に関する詳細な説明を見ることができます

レビューウィンドウ

6.2 レビューウィンドウからフォルダ内の画像を見る

レビューウィンドウに表示される画像を選択する

レビューウィンドウを開くと、現在選択されている画像が表示されます。メインウィンドウのサムネイル枠の画像をダブルクリックするか、サムネイル枠から画像を選択し、 *画像を表示* ボタンをクリックすると、レビューウィンドウ内の画像が入れ替わります。

ナビゲーションボタンを使って画像を選択する

レビューウィンドウの *ナビゲーション* ボタン をクリックすると、メインウィンドウのサムネイルの順番に、レビューウィンドウ内に表示される画像が入れ替わります。また、レビューウィンドウメニューの *表示* から *前の画像* か *次の画像* をクリックして画像を選択することも可能です。

前の画像 のボタンが灰色になっているときは、現在見ている画像がフォルダ内の最初の画像であることを示しています。*次の画像* のボタン が灰色になっているときは、現在見ている画像がフォルダ内の最後の画像であることを示しています。

メインウィンドウ内のフォルダを切り替えると、ナビゲーションボタンは一時的に使えなくなります。レビューウィンドウで、新しいフォルダの画像を表示するとナビゲーションボタンは再び使えるようになります。

特定の画像を選択する

レビューウィンドウを開いている状態で、メインウィンドウから特定の画像を見る場合は、サムネイル画像をダブルクリックして下さい。アクティブになっているレビューウィンドウに、それまで表示されていた画像から、新たに選択された画像に切り替わって表示されます。

6.3 ルーペを使う

ルーペの表示・非表示

ルーペ ボタンをクリックすると、ポインターがルーペに切り替わります。ルーペはポインターと同様に、画像上のどこにでも持っていくことができます。ルーペをオフにして、ポインターに戻す為には、ボタンをもう一度クリックします。

ルーペの拡大率を変える

ルーペを使用すると、レビューウィンドウ内の画像を 800%まで拡大することができます。拡大率を変えるためには、*ルーペボタンの*隣にある左右の矢印をクリックします。現在の拡大率は、矢印の間に表示されます。

ルーペを使う

レビューウィンドウにある*ルーペボタン*をクリックすると、ルーペが使用できます。

ルーペを使用しながら、グレーバランスを調整する事ができます。ルーペの状態に戻す場合は、調整パレットにある*グレーバランスボタン*をクリックして下さい。ルーペを使用しないでスポイトを使用した場合は、*グレーバランスボタン*をクリックするとポインターに戻ります。

ルーペでRGB値を読む方法

右下コーナーの 3 つの数字はそれぞれ、ルーペ中央の 5 x 5 ピクセルのポイントサンプルにおける赤(R)、緑(G)、青(B)の値を示しています。
色に関する情報は 8.3 章 をご覧下さい。

6.4 画像の拡大率を変更する

画像を画面のサイズに合わせて表示する

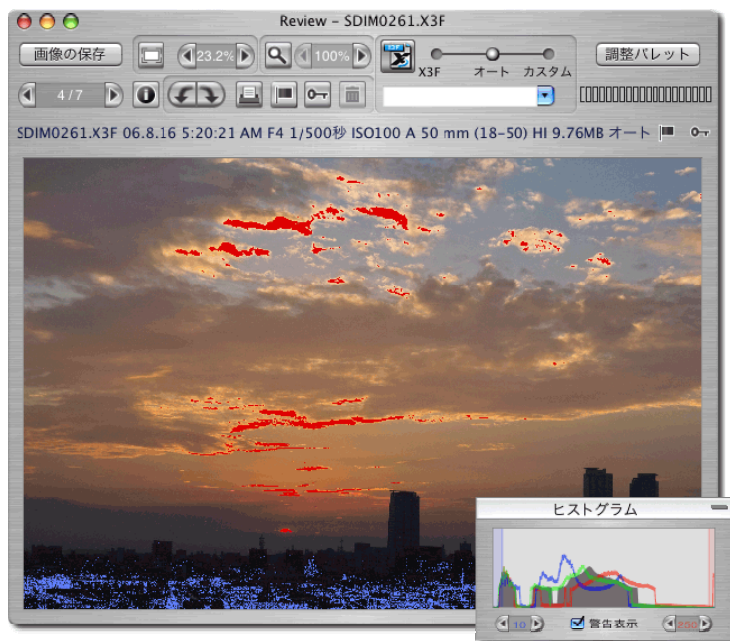
画面サイズ ボタンをクリックすると、表示されている画像の拡大率を自動的にレビューウィンドウのサイズ合わせます。

画像の拡大率を変える

拡大ボタンをクリックすると、レビューウィンドウ内の画像を1600%まで拡大することができます。拡大率を変えるためには、 画面サイズ ボタンの隣にある左右の矢印をクリックします。現在の拡大率は、矢印の間に表示されます。画像の最小縮小率は8.3%(1/12)です。

6.5 露出警告表示を使って画像を見る

ハイライト部とシャドウ部を表示する

赤で表示されている部分は、調整パレット内のヒストグラムで設定されている値を超えている部分を表しています。青で表示されている部分は、調整パレット内のヒストグラムで設定されている値を下回っている部分を表しています。露出警告表示の詳細については、8.4 章をご覧下さい。

6.6 調整設定を使用する

調整設定の選択によって、画像ファイルの画像調整方法を切り替えることができます。

画像処理中は、レビューウィンドウの右上にあるプログレスバーで進捗状況が表示されます。プログレスバーの表示が終わると、設定されている調整設定を反映した画像が表示されます。

設定を変更するには、青いボールを他の設定の位置までドラッグするか、設定したい枠の部分をクリックして下さい。

表示されている画像が X3F ファイルの場合

X3F: X3F に設定された画像を見る

X3F を選択すると、撮影時のデータか X3F に保存されたデータをもとに調整した画像がレビューウィンドウに表示されます。
オートやカスタムで調整した値は、X3F ボタンを押す事により X3F ファイルに保存することができます。

他の設定を選択するか、調整パレットを使って手動で設定を変更しない限り、設定は X3F のままになります。

オート: 自動的に調整された画像を見る

オートを選択すると、撮影画像の状態に合わせて調整された画像が表示されます。

他の設定を選択するか、調整パレットを使って手動で設定を変更しない限り、設定はオートのままになります。

オート調整で行われている内容を確認する為には、調整パレットを開いて下さい。オートは、ここにある項目を自動的に調整するようになっています。更に調整を行いたい場合には、調整パレットの各設定を個別に変更してください。この時、オートからカスタムに設定が変更されますので、ご注意下さい。

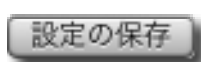
カスタム: 手動で調整した画像を見る

カスタムを選択すると、レビューウィンドウに表示される画像はポップダウンメニューに記録されている設定か、カスタム調整された設定に基づいて表示されます。

ポップダウンメニューからの設定の変更、他の設定の選択、調整パレットを使って手動で設定を変更しない限り、カスタムで選択された現在の設定は変更されません。

X3F やオート設定に変更しても、ポップダウンメニューに、最後の設定は無題として残りますので、カスタムに戻せばその値に戻すことが可能です。

保存されていない設定

ポップダウンメニューに“無題”が表示されている時は、調整パレットで設定されている状態が反映されます。調整パレットで画像を微調整すると、ポップダウンメニューの表示はすぐに”無題” に切り替わります。調整つまみやスライダーを動かすと、自動的にカスタム設定になり、ポップダウンメニューには“無題” と表示されます。

調整パレットにある*設定の保存*ボタンをクリックすると調整した設定をソフトウェアに名前を付けて保存する事ができます。
調整した設定をソフトウェアに保存する事によって、保存した設定を他の画像に適用する事ができます。

調整した設定を X3F ファイルに保存する事ができます。X3F ファイルに保存する場合は、レビューウィンドウ または、調整パネルにある調整設定の X3F ボタンをクリックして下さい。
画像の保存ダイアログボックスにあるチェックボックスをチェックする事によって、TIFF 画像または JPEG 画像を保存する際の設定を X3F ファイルにも保存することができます。
このチェックボックスの設定は、次回の画像の保存の際にもチェックされた状態になります。

現在の設定を X3F ファイルに保存した時や、X3F ファイルに保存した設定を表示されている画像に適用した時には、X3F ボタンはグレーになります。

表示されている画像が JPEG あるいは TIFF ファイルの場合

File: 無調整の画像を見る

File を選択すると、無調整で画像をレビューウィンドウに表示します。

他の設定を選択するか、調整パレットを使って手動で設定を変更しない限り、設定は File のままになります。

オート: 自動的に調整された画像を見る

オートを選択すると、画像ファイルの状態に合わせて自動的に調整された画像が表示されます。

他の設定を選択するか、調整パレットを使って手動で設定を変更しない限り、設定はオートのままになります。

オート調整で行われている内容を確認する為には、調整パレットを開いて下さい。オートは、ここにある項目を自動的に調整するようになっています。更に調整を行いたい場合には、調整パレットの各設定を個別に変えてください。この時、オートからカスタムに変更されますので、ご注意下さい。

カスタム:手動で調整した画像を見る

カスタムを選択すると、レビューウィンドウに表示される画像は直前に調整された設定に基づいて表示されます。

他の設定の選択、調整パレットを使って手動で設定を変更しない限り、カスタムで選択された現在の設定は変更されません。

File やオート設定に変更しても、最後に調整をした設定値は記憶されていますので、カスタムに戻せばその設定に戻すことが可能です。

画像の保存については、7.2 章 をご覧下さい。

注意:JPEG と TIFF ファイルでは、X3F Fill Light は使用できません。

6.7 複数のレビューウィンドウ

複数のレビューウィンドウを開く

複数のレビューウィンドウを開くと、各画像や設定を並べて比較することができます。レビューウィンドウをもう一つ開く為には、メインウィンドウかレビューウィンドウのメニューから、*ファイル* **>** *新規ウィンドウで開く*を選択して下さい。

複数のレビューウィンドウが開かれた状態でメインウィンドウのサムネイルをダブルクリックすると、その画像は一番手前に表示されているレビューウィンドウに表示されます。

注意 ：レビューウィンドウを新規で開くたびに、その分だけコンピューターのメモリーを使うことになります。従って、複数のレビューウィンドウを開くとプログラムの動作は遅くなります。プログラムの動作を最適化したいときは、使用していないレビューウィンドウを閉じてください。

複数のレビューウィンドウを使って画像を比較する

似通った画像を複数のレビューウィンドウに表示して並べると、構図、表情、ピントなどを比較することができ、どちらの画像を補正、保存するかを決定しやすくなります。

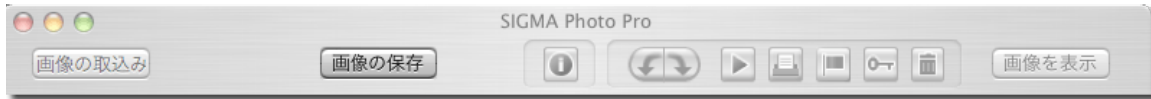
複数のレビューウィンドウを使って設定を比較する

レビューウィンドウ内で設定された調整設定は、他のレビューウィンドウが立ち上がってもそのまま有効になり、設定された通りに画像を表示します。同じ画像を二つのレビューウィンドウに表示して並べると、異なる設定を比較することができます。

7 画像調整及び保存

この章では、以下の項目について説明します

- 画像調整と保存
- 解像度、ファイル形式、カラースペースの選択

7.1 メインウィンドウで画像の調整と保存をする

複数の画像をまとめて画像の調整と保存をする

複数の画像を選択して処理すると、X3F ファイルから簡単かつ迅速に画像の調整と保存をすることができます。但し、ファイル名を変更することはできません。また、全てのファイルは同じ設定で処理されますが、調整設定の「オート」を選択すると、それぞれの画像は最適に調整されて処理されます。

複数の画像を処理する方法

画像の調整と保存をしたい X3F ファイルが含まれているフォルダを選択します
フォルダ内の全ての画像、マークした画像のみ、あるいは選択した画像のみのいずれかを選びます
特定の画像のみの調整と保存をしたい場合は、あらかじめサムネイルを選択するか、マークしてください
画像の保存 ボタン をクリックしてください

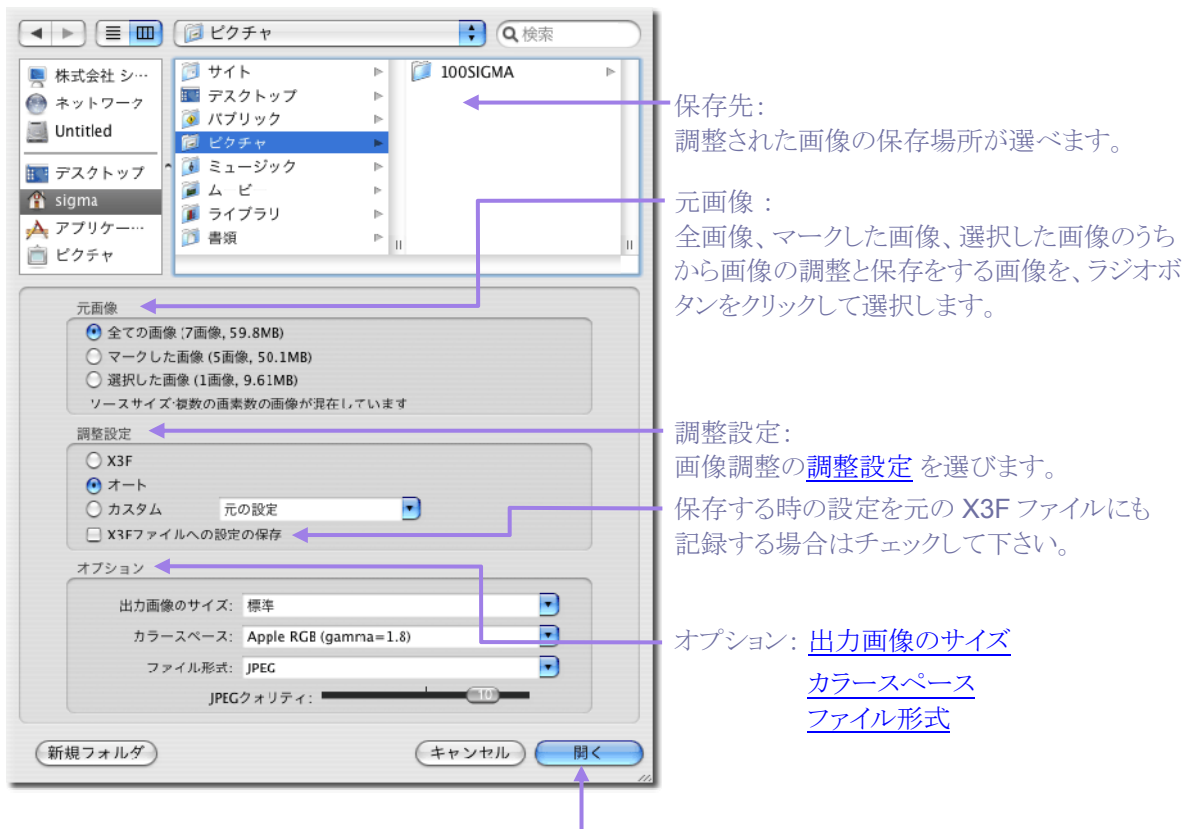
以下のようなダイアログボックスが現れます

保存先：
調整された画像の保存場所が選べます。

元画像 ：
全画像、マークした画像、選択した画像のうちから画像の調整と保存をする画像を、ラジオボタンをクリックして選択します。

調整設定：
画像調整の調整設定 を選びます。

保存する時の設定を元の X3F ファイルにも記録する場合はチェックして下さい。

オプション： 出力画像のサイズ
カラースペース
ファイル形式

注意：JPEG、TIFF では使用できません。

保存 をクリックすると画像の調整と保存が始まり、*キャンセル* をクリックするとメインウィンドウに戻ります。

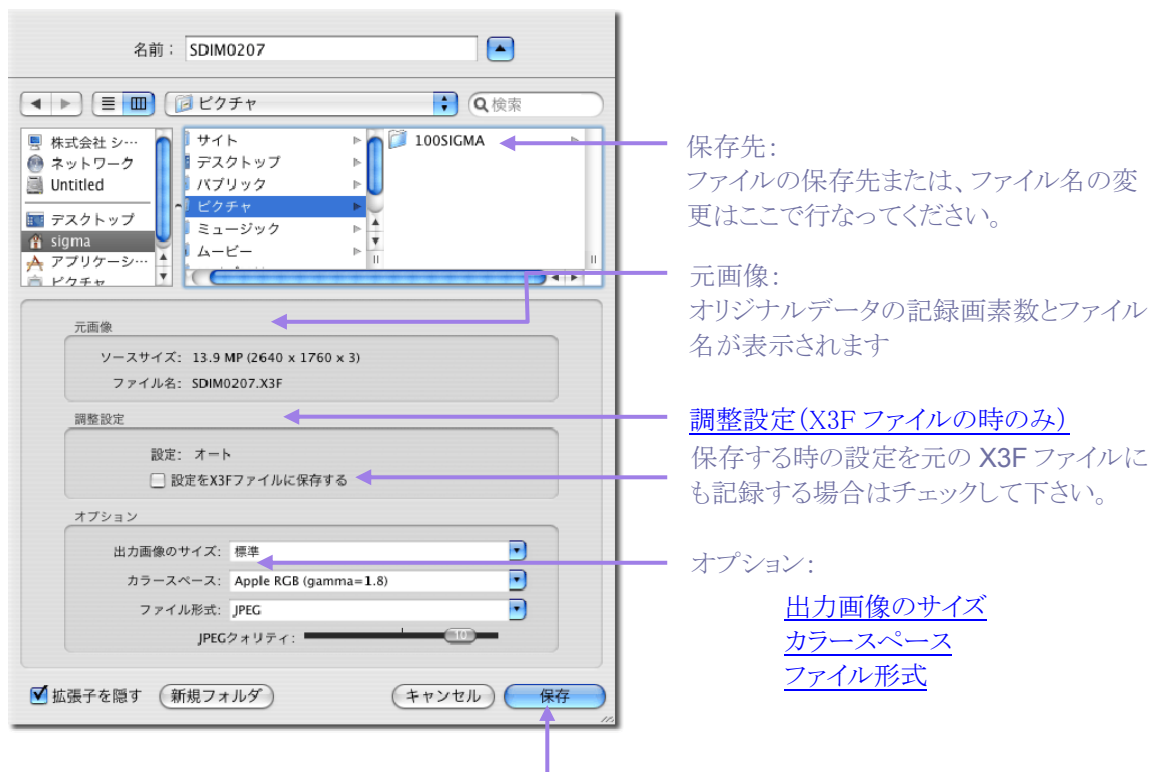
7.2 レビューウィンドウで画像の調整と保存をする

一画像ごとに調整と保存をする

レビューウィンドウから一画像ごとに調整と保存をすると、以下の利点があります。

画像を閲覧している間にほとんどの画像調整が完了するので、画像ファイルの保存に時間はかかりません
ファイル名を変更することができます
調整パレットを使って、各画像の設定を調整することができます
設定を選択する前に、画像を確認することができます

画像の保存　加工する画像を決めたら、*画像の保存* ボタンをクリックしてください。

すると次の画面が現れます。

保存先：
ファイルの保存先または、ファイル名の変更はここで行なってください。

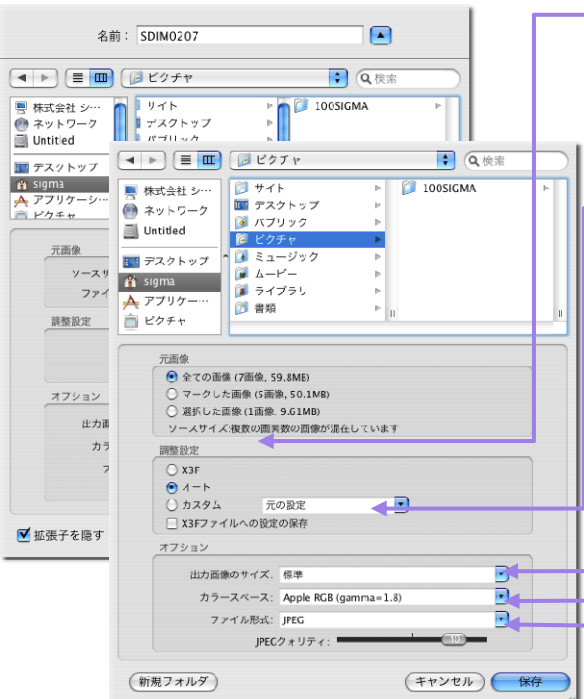
元画像：
オリジナルデータの記録画素数とファイル名が表示されます

調整設定（X3F ファイルの時のみ）
保存する時の設定を元の X3F ファイルにも記録する場合はチェックして下さい。

オプション：

出力画像のサイズ
カラースペース
ファイル形式

保存 をクリックすると 画像の調整と保存を開始します。*キャンセル* をクリックするとメインウィンドウに戻ります

保存場所を選択する

画像を保存する時に保存先のフォルダを選択する事ができます。保存先は　前回保存したフォルダに画像が保存されます。保存する場所を変更する場合は　保存するボリュームやフォルダを選んで下さい。

注意：JPEG、TIFF の場合は、調整保存をくり返すと画像は劣化します。

7.3　画像の調整と保存のオプション

ポップダウンメニューとラジオボタンを使って、画像の調整と保存の方法を選択して下さい。

画素数

画素数の初期設定は、その画像をカメラで撮影したときに選択されていた画素数に設定されます(High, Med, Low)。 さらに TIFF または JPEG 形式で保存する際に、1/2 倍 と 2 倍の選択が可能です(縦横それぞれのピクセル数が 1/2 あるいは 2 倍になります)。

調整設定

調整設定には次の中からから選べます。カメラで撮影した時の設定あるいは X3F ファイルに保存された設定で調整する X3F, 自動調整を加えるオート、そしてお好みの設定が可能な カスタムの 3 つです。それぞれの設定に関する詳しい情報については6.6 章 を、設定の保存方法については8.7 章 をご覧下さい。

カラースペース

出力形式に適した正しい色空間を選択することは、その他のソフトウェアやプリンターなどで正しいカラーデータを得る為に必要なことです。カラーマネジメントについて具体的なご希望が無い場合は、ウィンドウズか Macintosh の標準色空間（sRGB または AppleRGB）を選択されることをお奨めいたします。その他の特定の色調整を行いたい場合は、ポップダウンメニューからお好みの色空間をお選び下さい。

ファイル形式

SIGMA Photo Pro では、JPEG 、8 ビット TIFF、16 ビット TIFF のファイル形式がサポートされています。

クオリティ

JPEG 形式の画像を保存する際に　圧縮率を変更することができます。

8 画像の調整をする

この章では、以下の項目について説明します

- 調整パレットの使い方
- 色調補正
- 色補正
- ヒストグラムの使い方
- 露出警告の設定
- ホワイトバランスの変更
- 設定の保存
- 保存された設定の削除

8.1 調整パレットを使って、マニュアルで画像の調整を行う

調整パレットを使うと、レビューウィンドウで画像のマニュアル調整が出来ます。調整を行う為には、レビューウィンドウ画面の上部にある調整設定をカスタム に設定して下さい。ポップダウンメニューが"*無題* " になっていれば、カスタム設定になっていることを示しています。

他の設定や保存されている設定を選択しない限り、現在このパレットで選択されている設定がレビューウィンドウに適用されます。2 つ以上のレビューウィンドウが開いている場合は、アクティブになっているレビューウィンドウで設定されている状態がパレットに表示されます。

調整パレットを開く

調整パレット

調整パレットを開く為には、レビューウィンドウの *調整パレットボタン* をクリックしてください

調整パレットの最大化、最小化と閉じる 方法

調整パレットの中の各パネルを最大化、最小化をするためには、各パネル（調整設定，画像補正，ホワイトバランス，カラー調整,ヒストグラム）のタイトルボタンをクリックするか、タイトルボタンの右隅の最大表示（＋）/最小表示（－）ボタンをクリックして下さい。

調整パレットの左上隅の赤いボタンをクリックすると、パレットを閉じることができます。または、レビューウィンドウを全て閉じると調整パレットも閉じることになります。

8.2 階調を補正する

露出、コントラスト、シャドウ、ハイライト、彩度、シャープネス及び X3 Fill Light (X3F ファイルのみ)の調整はスライダーを使います。

調整設定オートを選択すると、画像補正パネルにあるシャープネス以外の全てのスライダーが適用されます。X3 Fill Light は、調整設定オート選択時には わずかしか調整されません。シャープネスと同様に、X3 Fill Light の調整量は画像の内容や撮影者の好みにより違いがあるためです。

シャープネスや X3 Fill Light で覆い焼き、焼き込み効果を追加したい場合は、調整設定オートを選んだ後に各スライダーを調整して下さい。

注意：JPEG と TIFF ファイルでは、X3F Fill Light は使用できません。

露出

露出スライダーを使うと、コントラストを変えることなく画像の明るさを調整することができます。ややオーバー気味、あるいはアンダー気味の画像の調整にはこの機能を使って下さい。スライダーの 0.1 ステップは、F 値の 1/10 に相当します。調整範囲は、–2.0 から 2.0 です。これは F 値のプラス・マイナス 2 段に相当します。

コントラスト

コントラストスライダーを使うと、シャドウ部の暗さとハイライト部の 明るさが同時に調整されます。コントラストを上げると、明部をより 明るくし、暗部をより暗くすることができます。コントラストを下げると、明部と暗部の明暗差が少なくなります。調整範囲は、–2.0 から 2.0 です。

シャドウ

シャドウスライダーを使うと、シャドウ部の暗さを調整することができます。数値を上げていくとシャドウ部がより明るくなり、下げるとシャドウ部が暗くなります。調整範囲は、–2.0 から 2.0 です。

ハイライト

ハイライトスライダーを使うとハイライト部の明るさが調整されます。数値が高い程ハイライト部が明るくなり低いと暗くなります。調整範囲は、-2.0 から 2.0 です。

彩度

彩度スライダーを使うと、色の強度を調整することができます。彩度を上げていくと色がより豊かになり、下げると色味が弱くなります。調整範囲は、–2.0 から 2.0 です。最も低い設定値である –2.0 は、完全なモノクロ画像に相当します。

シャープネス

シャープネススライダーを使うと、画像の輪郭の強弱を調整できます。シャープネスを上げていくと画像の輪郭が強調されます。調整範囲は、-2.0 から 2.0 です。

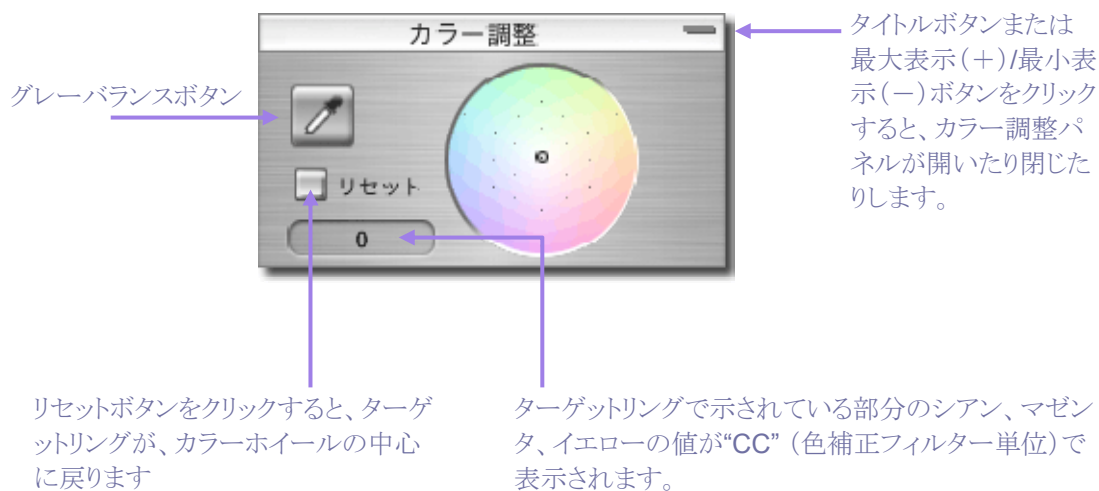
X3 Fill Light（X3F ファイルのみ）

X3 Fill Light スライダーを使うと、画像の明るい部分の露出を変えることなく、暗い部分にライトを追加するように明るさを調整することができます。調整範囲は、-2.0 から 2.0 です。

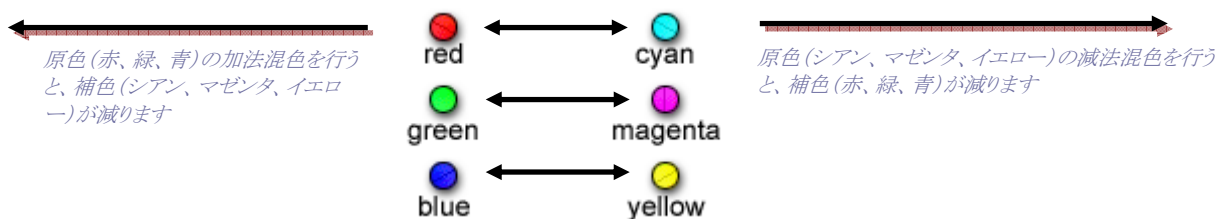
8.3 色を補正する

色補正機能を使うと、画像の全体的な色を調整することができます。例えば、室内で撮影した為に画像が全体的に黄色い場合は、シアンとマゼンタを加えることによって、黄色味を取ることができます。

カラー調整を使うと、マニュアルで色の補正を行うことができます。調整方法には、ターゲットリングをスライドさせて好みの色に調整する方法と、グレーバランスを使って、本来ニュートラルカラーであるにもかかわらず RGB の値が不均一な場所をサンプリングして、その部分の補正をベースにして全体を自動的に調整する方法の 2 つがあります。

カラー調整を表示する為には、調整パレットのカラー調整パネルの表示を最大化してください。

カラーホイールの使い方

カラーホイール内のいずれかの場所にドラッグして下さい。サークル内の端の方へ移動していくと、画像内の色もその部分の色味が強くなります。円の外側に移動して、ターゲットが見えなくなっても、色はそのまま変化を続けます。

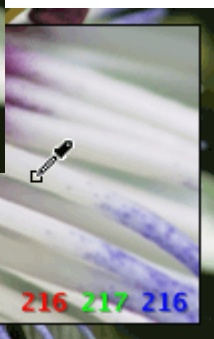
リセット ボタン をクリックすると、画像はオリジナルの初期設定に戻ります。

カラーホイールを使用して色を調整する

室内撮影などで画像が黄色っぽくなってしまった場合は、レビューウィンドウでルーペを使ってニュートラルグレーをサンプリングして下さい。サンプリングを行うことでそのような色かぶりを補正することができます。ルーペ内に表示される RGB 値を見ながらカラーホイール内のターゲットリングをドラッグして、RGB の値が一致するように CMY の値を設定して下さい。サンプリングされた色がニュートラルであると予め分かっている場合には、画像全体の色バランスを調整することができます。

カラーホイールの下側には、ターゲットリングの値がシアン、マゼンタ、イエローの CC 値（色補正フィルターの単位）で表示されています。前のページの図は、赤（R）、緑（G）、青（B）とシアン、マゼンタ、イエローとの関係を示しています。

画像全体に色かぶりが生じていても、サンプリングするニュートラルカラーが画像の中にない場合は、色かぶりしている方向とは逆の方向にターゲットリングをドラッグして下さい。例えば、画像が全体的に赤い場合は、カラーホイールの反対方向であるシアンの方向にターゲットリングをドラッグして下さい。

グレーバランスを使って色調整を行う

グレーバランスを使うと、画像内にニュートラルグレートーンを作り出すことができます。レビューウィンドウ内に本来ニュートラルカラーでありながら、ニュートラルになっていない部分を表示させて下さい。 次にグレーバランスボタンをクリックして下さい。するとポインタースポイトに変わります。

ポインタースポイトをニュートラルにしたい色の上に持っていき、クリックします。するとソフトウェアがその色を評価し、ニュートラルトーンになるように調整を行います。

調整前

調整後

左のニュートラルグレイのサンプル画像は、青が弱くなっています。ここで補正をかけると B の値が 206 から 216 に変わり、本来のニュートラルグレイになります。

別のサンプルポイントを取ってもう一度グレーバランス調整を行いたい場合は、*グレーバランス* ボタンをクリックして、上記の手順を繰り返して下さい。

カラー調整パレットボックスの下側にある*リセット* ボタンをクリックして、色調整をする前の状態に戻すことができます。グレーバランスを参照しながら、カラー調整のターゲットリングを動かすと より細かい色の補正を行うことができます。

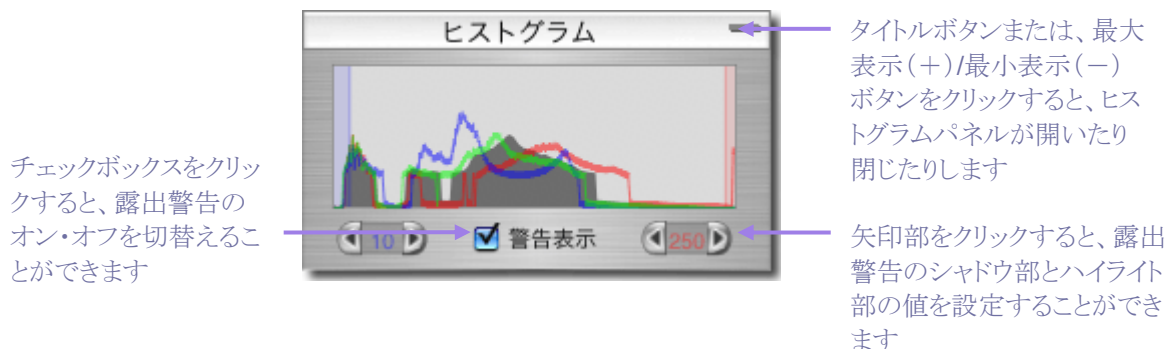
8.4 ヒストグラムと露出警告マスクを使う

ヒストグラムを読む

ヒストグラムを表示する為には、スクリーン上に調整パレットを表示してヒストグラムとタイトルのついたパネルを最大表示にして下さい。

チェックボックスをクリックすると、露出警告のオン・オフを切替えることができます

タイトルボタンまたは、最大表示(+)/最小表示(−)ボタンをクリックすると、ヒストグラムパネルが開いたり閉じたりします

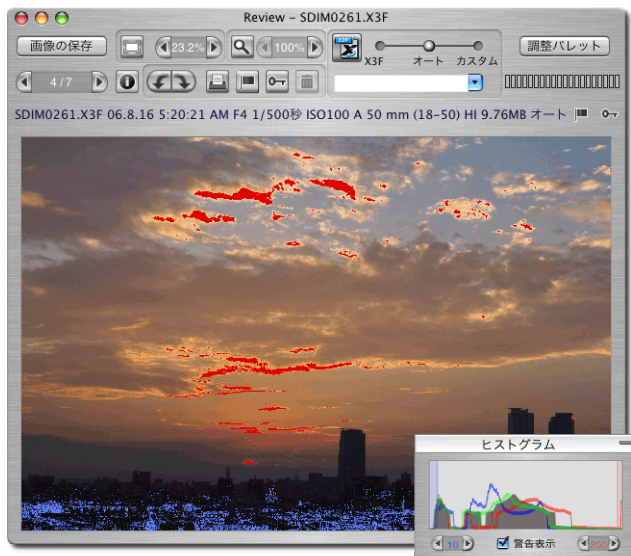
矢印部をクリックすると、露出警告のシャドウ部とハイライト部の値を設定することができます

ヒストグラムは、表示されている画像の明るさの分布をグラフで表示しています。明るさは、R、G、B の 3 原色それぞれの明るさを表示する 3 本の線で表示されます。この RGB 値はレビューウィンドウでグレーバランスを使ったときに右下に表示されるものと同じ値です。

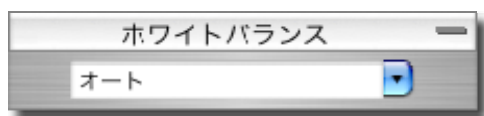
グラフの左側にはシャドウ部、中央部には中間値、右側にはハイライト部が表示されます。ここに表示される値は、0(シャドウ)から 255(ハイライト)の範囲になります。

露出警告表示を有効にする、無効にする

ヒストグラムパネルの下にあるチェックボックスをクリックすると、露出警告のオン・オフが切り替わります。露出警告の値を設定すると、いずれかの色がその値を超えた場合に、警告が表示されます。

例えば、お使いのプリンターや画像処理ソフトが 8 以下のシャドウ部のディテールを表現できず、240 以上のハイライト部が飛んでしまうような場合には、露出警告をこれらの値に設定することによって、その範囲外になったときに警告が出るようにすることができます。ヒストグラムの下にある矢印をクリックすると、その限界値を設定することができます。

マスクの値を設定したら、画像補正のスライダーを使って、警告部分が少なくなるように調整することにより、最終的なプリントの出力範囲を最大限に活用することができます。

8.5 ホワイトバランスの変更（X3F ファイルのみ）

X3F ファイルのホワイトバランスを変更する

ホワイトバランスは画像編集中に調整することが可能です。撮影時の光源の種類に近い設定を選ぶ事によって、よりイメージに近い画像を得る事ができます。
ホワイトバランスを変更するためには、まず設定を変更したい画像をレビューウィンドウに表示します。次に、調整パレットのホワイトバランス設定をクリックして、変更したいホワイトバランスを選択してください。

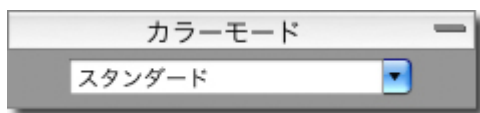
プルダウンメニューを開いて以下の設定を選択することができます。

晴れ：　晴天の屋外で撮影した画像に適した設定です
日陰：　晴天の屋外の日陰などで撮影した画像に適した設定です
くもり：　雲天の屋外などで撮影した画像に適した設定です
白熱電球：　白熱電球の照明下で撮影した画像に適した設定です
蛍光灯：　白色蛍光灯下で撮影した画像に適した設定です
フラッシュ：　エレクトロニックフラッシュを使用して撮影した画像に適した設定です
オート：　画像に適したホワイトバランスを設定します
モノクローム：　画像をモノクロ画像に変換します
元の設定：　ホワイトバランスを撮影時の設定に戻します

撮影時以外のホワイトバランスの設定を選択すると、元の X3F ファイルがその設定に従って、変更されます。ただしメインウィンドウに表示されているサムネイル画像とレビューウィンドウに表示されるプレビュー画像については、この設定の変更は反映されません。

新しいホワイトバランスが設定されると、X3F の設定は自動的に更新されます。変更した効果を確認する為には、画像調整が完了するのをお待ち下さい。

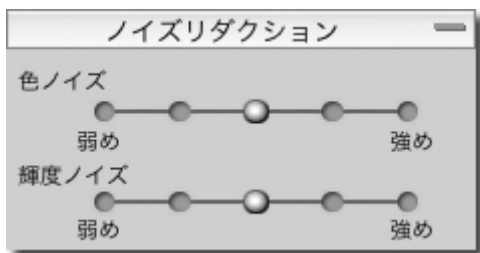
8.6 カラーモードの変更（DP2、SD15 の RAW データのみ）

X3F ファイルのカラーモードを変更する

各撮影シーンに最適な色調、コントラストなどを調整したカラーモードの選択できます。

プルダウンメニューを開いて以下の設定を選択することができます。

スタンダード：　さまざまなシーンに対応する基本的なカラーモードです。
ビビッド：　彩度、コントラストが高めに設定され、鮮やかな印象に表現します。
ニュートラル：　彩度、コントラストが控えめに設定され、落ち着いた雰囲気を再現します。
ポートレート：　肌の階調を柔らかく表現する、人物撮影に適したモードです。風景：青空や緑をより鮮やかに表現し、メリハリのある風景を再現します。
元の設定：　カラーモードを撮影時の設定に戻します。

注意 1 ：ホワイトバランス設定をモノクロームに設定すると画像はモノクロになりますが、カラー情報が削除されるわけではありません。再度別のホワイトバランス設定を選択すると、選択した設定にあわせたカラーの画像として設定されます。
注意 2：CD-ROM などの書込み禁止になっているメディアでは　上記の作業を行うことはできません。

8.7 色ノイズと輝度ノイズを抑制する（ISO400 以上の感度で撮影された X3F ファイルのみ）

ISO400 以上で撮影された画像に出る、色ノイズと輝度ノイズを抑制することができます。

色ノイズ:　　赤や緑のまだら上のノイズを 5 段階で抑制します。
輝度ノイズ:　画面に現れるざらざら感のあるノイズを 5 段階で抑制します。

注意 1 :ISO400 以上の X3F ファイルに適用されます。ISO50、ISO100、ISO200 のファイルには適用されません。
注意 2 :ISO400 以上の X3F ファイルを開いたときは、自動的にノイズリダクションが働きます。

8.8 カスタム設定の設定方法と保存方法 (X3F ファイルのみ)

調整パレットから設定する方法

調整設定をするには、レビューウィンドウから調整パレットを開きます。

調整パレットの調整設定の方法は、レビューウィンドウの調整設定と同じになっています。この部分については、6.6 章 をご覧下さい。

X3F ボタンをクリックすると X3F ファイルに調整設定を保存することができます

設定の保存 ボタンをクリックすると、調整パレットで設定されている設定がソフトウェアに保存されます
設定の消去 ボタンをクリックすると、ソフトウェアに保存されていて必要のない設定を消去することができます

設定の保存

現在の設定を保存する為には、設定の保存 ボタンをクリックし設定の保存ダイアログボックスを開いてください。
新しい設定を保存する為に、まず設定名を設定の名称欄に入力します。既存の設定を更新したい場合は、枠の中から更新したい設定名をクリックし保存 をクリックしてください。保存しない場合は キャンセル ボタンを押してダイアログボックスを閉じてください。

設定の消去

保存されている設定を消去する為には、まず設定の消去 ボタン をクリックします。すると、 設定の消去ダイアログボックスが現れます。
次に、消去したい設定名をクリックして、消去 をクリックします。

保存された調整設定値の入れ替え

X3F ボタンをクリックすると X3F ファイルに保存されている撮影時の設定値とオートやカスタムの調整設定を入れ替えることができます。X3F ボタンをクリックすると X3F に設定値の保存をするか確認のためのダイアログボックスが表示されます。
保存された X3F 設定はいつでも、新しく調整した設定やオートの設定と入れ替える事ができます。直接 X3F ファイルに調整設定を保存する機能は、画像ファイルごとに調整設定を保存できるため、画像を正確に TIFF や JPEG に変換する上で役にたちます。
X3F の設定を撮影時に戻す場合は調整設定でカスタムを選択し、ポップダウンメニューの元の設定 を選んで下さい。元の設定 を選んだ後 X3F ボタンをクリックすると X3F ファイルに撮影時の設定を保存します。
画像の保存の際に 画像の保存 ダイアログにある X3F ファイルへの設定の保存 チェックボックスをオンにすることで X3F の設定を X3F ファイルへ適用することができます。

9 撮 影 情 報 の 表 示

この章では、以下の項目について説明いたします

- メインウィンドウ 及び レビューウィンドウでの撮影情報の見方
- 詳細情報の見方

9.1 撮影情報

メインウィンドウ及びレビューウィンドウの画像枠上部に表示される情報

メインウィンドウで 1 枚の画像が選択されると、基本的な撮影情報が画像枠上部の情報フィールドに表示されます。画像が 1 枚も選択されていないか、複数選択されている場合、メインウィンドウの情報フィールドには 何も表示されません。

ここで表示される情報は以下の通りです。
ファイル名
撮影日、撮影時間
絞り、シャッタースピード
ISO 感度、露出モード、露出補正、焦点距離
記録画素数、ファイルサイズ（MB）

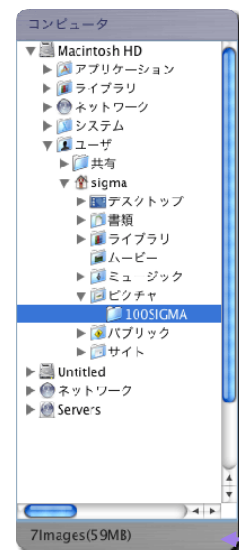
レビューウィンドウの画像の上にも、同様の撮影情報情報が表示されます。

メインウィンドウで画像を 1 枚選択した場合には、テキストの他に、マークの有無、ロックの有無、転送の状態のアイコンが情報フィールドに表示されます。選択された画像が SIGMA Photo Pro 以外で作成された TIFF か JPEG ファイルの場合は、ファイル形式とロックの状態がアイコンで表示されます。

メインウィンドウのサムネイル枠下部に表示される情報

1 画像を選択 (9.61MB)　　表示:全ての画像

画像の選択状況に関する情報は、メインウィンドウのサムネイル枠下部の情報フィールドに表示されます。このフィールドには、選択された画像枚数とそのファイルサイズの合計（MB）が表示されます。

コンピューター枠内に表示される情報

同様の情報は、コンピューター枠下部のフィールドにも表示されます。ここには、ボリュームやフォルダ内あるいはカメラ内の画像数とそれらのファイルサイズの合計（MB）が表示されます。

情報フィールド

9.2 撮影情報ウィンドウへのアクセス

撮影情報ボタン

画像に関する詳しい情報を確認したい場合はメインウィンドウか 又はレビューウィンドウにある *撮影情報* ボタンを押して下さい。

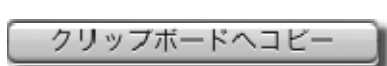
撮影情報ウィンドウ

撮影情報ウィンドウには、メインウィンドウまたはレビューウィンドウで選択された画像に関する情報が表示されます。

他の画像の情報を見たいときは、レビューウィンドウから画像を選択するか、メインウィンドウからサムネイルを選択して下さい。撮影情報ウィンドウに、選択した画像の撮影情報が表示されます。

撮影情報ウィンドウは、ウィンドウを閉じるか SIGMA Photo Pro を終了するまでデスクトップに表示されます。

撮影情報ウィンドウを閉じる場合には、左上隅の赤いボタンをクリックするか、*閉じる*ボタンをクリックして下さい。

撮影情報ウィンドウには3つの情報欄があります。一番上の欄には選択した画像ファイルに関する情報が表示されます。二番目の欄には撮影時のカメラの設定が表示されます。三番目の欄には選択した画像が X3F ファイルか SIGMA Photo Pro で保存された TIFF 又は JPEG ファイルの場合は適用された調整設定の値が表示されます。選択された画像が他のソフトウェアで編集されている場合はタイトル部分に編集したソフトウェア名が表示されます。

クリップボードへコピー ボタンを押すと撮影情報をクリップボードにコピーすることができます。この情報をお手持ちのテキストエディターへ貼り付けると編集や印刷を行うことができます。

１０ プリントとスライドショー

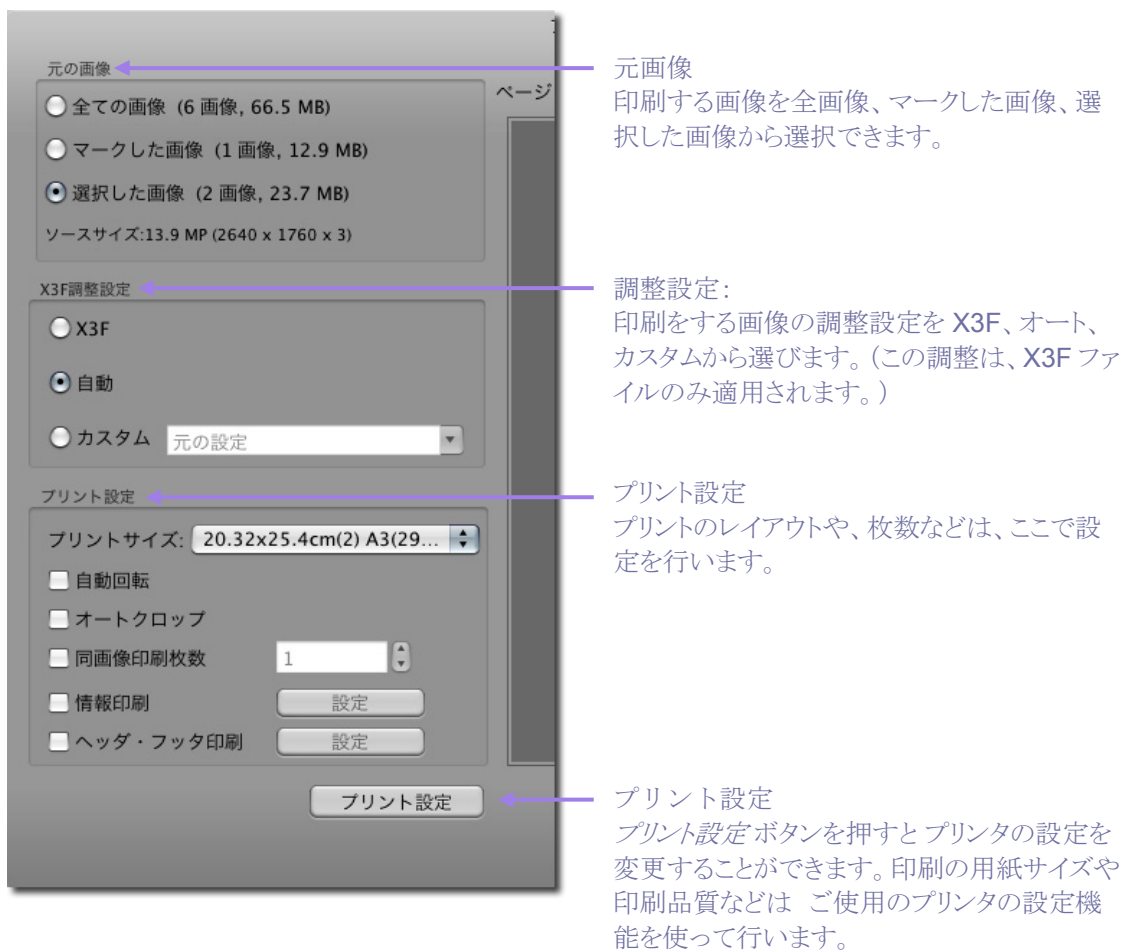
この章では、以下の項目について説明します

- 画像の印刷
- スライドショー

10.1　メインウィンドウ及びレビューウィンドウでのプリント

メインウィンドウ又はレビューウィンドウのプリントボタンをクリックするか、メニューで *ファイル* > *プリント*を選択することで、印刷が可能です。

メインウィンドウでプリントを実行した場合は以下のようなダイアログボックスが現れます。
画面左には、プリントの設定画面、右にはプリントプレビュー画面が表示されます。

プリントの設定画面

プリントサイズ

プリント設定で選んだ大きさの紙に何コマ印刷するかを指定する事が出来ます。このとき右側に印刷の状態がプレビュー表示されます。

プリントサイズは選択された用紙サイズによって、以下の様になります。

（例）A3用紙に印刷する場合
203.2×254mm (2)-A3 (297×420mm)
127×177.8mm (4)-A3 (297×420mm)
101.6×152.4mm (4)-A3 (297×420mm)
76.2×127mm (10)-A3 (297×420mm)
50.8×76.2mm (25)-A3 (297×420mm)
38.1×38.1mm (70)-A3 (297×420mm)
印刷領域にフィット

用紙サイズ
1 枚の用紙に印刷される枚数
プリントサイズ
選んだ用紙に最大の大きさで
印刷する場合に選択します

注意：プリントサイズは、203.2×254mm, 127×177.8mm, 101.6×152.4mm, 76.2×127mm, 50.8×76.2mm, 38.1×38.1mm の6種類が用意されています。
用紙サイズによって印刷できない画像のサイズは、プリントサイズ ポップアップメニューには表示されません。
203.2×254mm 以上のサイズでプリントしたい場合は、印刷領域にフィット を選択して下さい。

自動回転（Auto　Rotato）

印刷レイアウトに合わせて一番大きく印刷できるように画像を回転させます。

オートクロップ（Auto　Crop）

印刷サイズに合わせて、画像を自動的にトリミングします。このとき右のプレビュー画像にマウスカーソルを合わせると手のひらのアイコンが出現します。手のひらアイコンで像を動かすことにより、トリミング位置の微調整が可能です。

同画像印刷枚数（Image　Copies）

同一画像を同一サイズで何枚印刷するかを設定できます。

情報印刷

プリントの下にファイル名等の基本情報やシャッタースピード等の撮影情報などの印刷ができます。

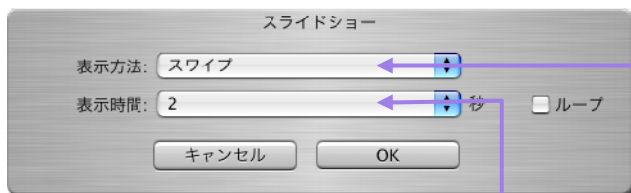
ヘッダ・フッタ印刷

プリントの左上や右下等にタイトルなどの印刷ができます。

以上の設定が完了したら印刷ボタンをクリックしてください。印刷を行わない場合はキャンセルボタンをクリックしてください。

注意：レビューウィンドウから印刷を実行した場合はそこに表示されている画像のみの印刷を行います。この時、印刷の設定画面からフォルダ内に入っている画像を選択したり、調整設定を選択したりする事ができません。

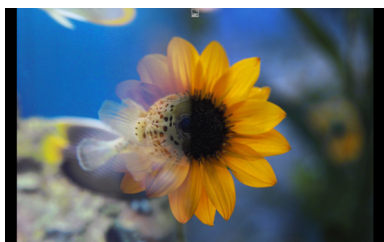
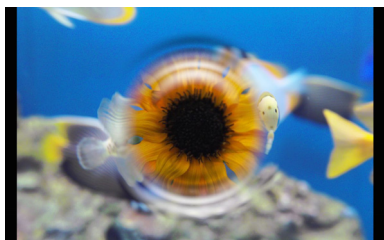
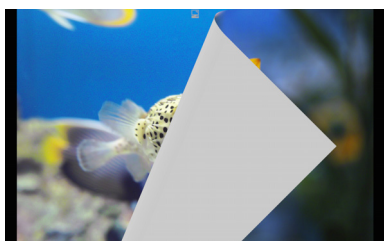
10.2 メインウィンドウでのスライドショー

メインウィンドウのスライドショーボタンをクリックするか、右クリックからスライドショーの選択メニューから *ファイル->スライドショー* を選択することで、スライドショー設定画面が表示されます。

表示方法
画像切り換え時の表示方法を選択します。スワイプ、波紋、ページめくり、モッド、ストロボ、ディゾルブ、マスクを使用して分解、コピーマシンの中から選択することが出来ます。

表示時間
1枚当たりの表示時間を1〜10秒で設定します。

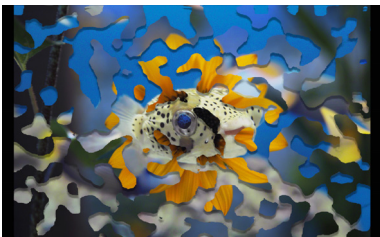
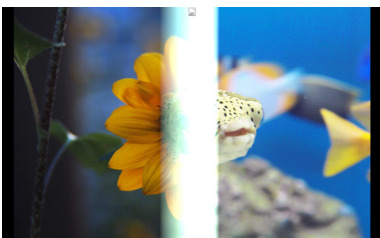
ループ
ループ チェックボックスにチェックを入れると、スライドショーを繰り返します。

再生 ボタンを押すと、スライドショーが始まります。スライドショーを行わないときは *キャンセル* ボタンを押してください。
画像の表示中にスペースバーを押すと、その画像をマークすることができます。
スライドショーの実行中に、ESC キーを押すと、スライドショーは終了します。

スライドショーの表示方法

スワイプ
画面左側から右側へ表示されている画像を消しながら、次の画像が表示されます。

波紋
画面中央から円形の波が広がり、波の跡を追って次の画像が表示されます。

ページめくり
画面左上隅から、画像をめくるような形で次の画面が表示されます。

モッド
不規則な形状の穴通して次の画像を表示します。

ストロボ
画面中央から閃光（フラッシュ）を発した後、次の画像が表示されます。

ディゾルブ
表示されている画像が消えながら、次の画像が重なるように表示されます。

マスクを使用して分解
まだら模様の形状を通して次の画像が表示されます。

コピーマシン
複写機に見られるような光の帯が、表示されている画像を消しながら、次の画像が表示されます。